

GMO フィナンシャルHD

2022年12月期 決算説明会

STOCK CODE: 7177

2023年2月3日



- 01 決算概要**
- 02 事業の状況
- 03 今後の展望
- 04 Appendix

FY2022 | 総括

- 厳しい事業環境の中、22'Q3に特別損失、22'Q4にタイ証券事業で貸倒引当金繰入額を計上し、FY2022の最終利益は前期比87.7%減の12.1億円
- FXの収益性改善をはじめ、CFDの育成や暗号資産の利便性向上、新規事業の顧客基盤拡大など、持続的成長に向けた取り組みを着実に遂行

各サービスの振り返り

	セグメント別/商品別収益等	評価	
FX	245 億円※1 (Y/Y+23.2%)	<ul style="list-style-type: none">• 急激な円安進行で取引高増も収益性が悪化• Q4での課題抽出・対応により、収益性は改善	× ◎
CFD	88.3 億円※2 (Y/Y+55.0%)	<ul style="list-style-type: none">• コモディティ市場の活況もあり好調に推移• FXプライム byGMOで商品CFDの取扱開始	◎ △
海外証券 (タイ王国)	28.8 億円※3 (Y/Y+73.9%)	<ul style="list-style-type: none">• 信用残高・金融収支は伸長もリスク管理態勢に課題	×
暗号資産	36.7 億円 (Y/Y▲69.5%)	<ul style="list-style-type: none">• 低調なマーケットにより減収減益• 利便性向上とストック収益の拡大を推進	× ○
新規事業	—	<ul style="list-style-type: none">• 顧客基盤は拡大も収益拡大が課題	△

※1 外為OP収益を含む収益 ※2 株BO収益を含む収益 ※3 タイ王国における金融収支

FY2022 | タイ証券事業における貸倒引当金繰入額の計上について

GMO-Z com Securities (Thailand) Public Company Limited

貸倒引当金繰入額計上の背景

- Q4にタイ証券市場で1銘柄について不公正と疑われる取引が発生
- 当該有価証券を担保としている信用取引貸付金の回収可能性を検討し、貸倒引当金繰入額約35億円を販売費及び一般管理費に計上
- 2022年12月期末の債権総額は約79億円、追加情報の入手により貸倒引当金繰入額に修正の可能性あり

今後の対応と対策

- 債権回収に努めるとともに、リスク管理態勢の強化とビジネスモデルを再検討
- 海外子会社のリスク管理に対するガバナンス体制を強化

FY2022 | 決算サマリー（前期比）

収益は微増も、Q3の特別損失計上に加えて、Q4でタイ王国での証券事業に関連して貸倒引当金繰入額を計上したことにより、各利益段階は大幅な減益

(億円)	FY2021	FY2022	増減額	Y/Y 増減率
営業収益	459.2	465.3	+6.0	+1.3 %
純営業収益	438.2	438.8	+0.6	+0.1 %
営業利益	153.9	91.5	△62.4	△40.6 %
経常利益	160.3	78.7	△81.6	△50.9 %
最終利益	98.5	12.1	△86.4	△87.7 %

FY2022 | セグメント別の状況（前期比）

（ ）内は前期比

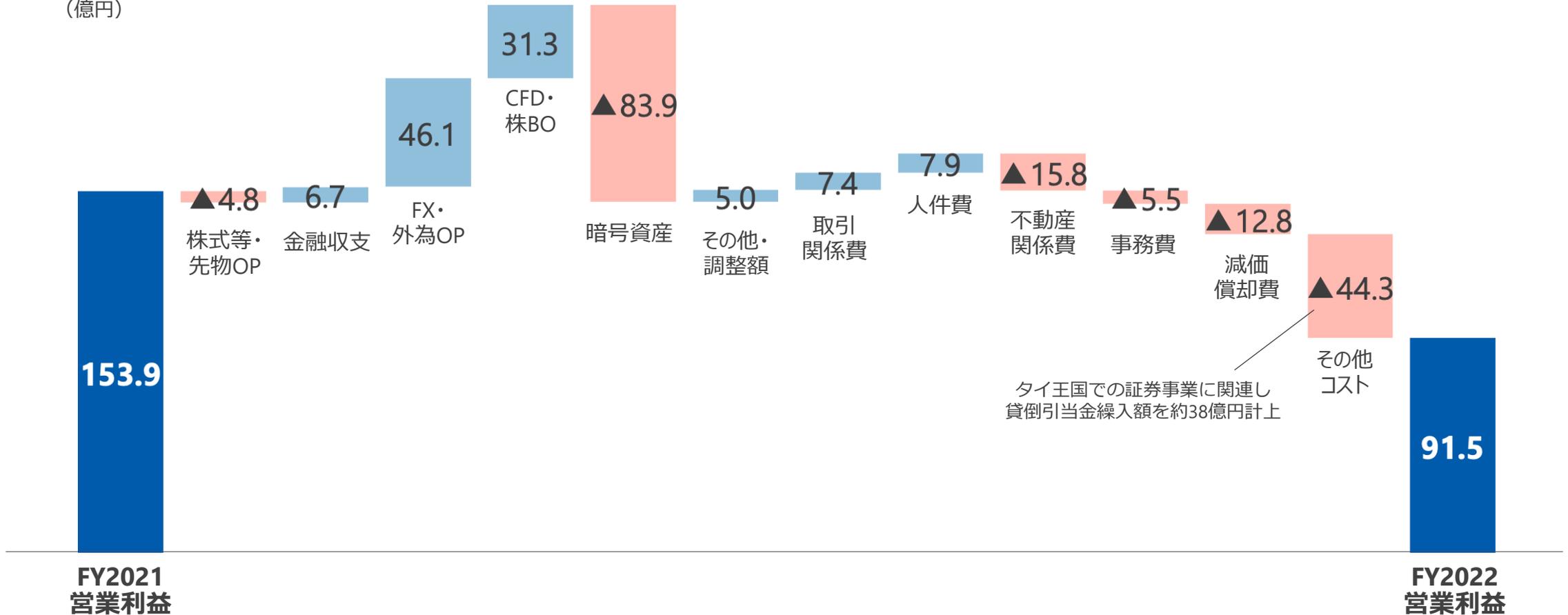
		FY2021	FY2022
証券・FX事業	営業収益	332.8 億円	422.5 億円 (+27.0 %)
	営業利益	113.5 億円	94.9 億円 (Δ16.4 %)
暗号資産事業	営業収益	120.6 億円	36.7 [※] 億円 (Δ69.5 %)
	営業利益	40.5 億円	Δ 0.3 億円 (— %)

※ 2022年10月からこれまで営業収益のトレーディング損益に含めていた為替ヘッジ取引に伴う損益を営業外損益に計上することとしました。
当該組み替えによる、Q1～Q3'22の期間における増収分約8.7億円を、Q4'22に一括計上しています。

FY2022 | 営業利益増減（前期比）

外貨ex byGMOのグループジョインや好調なCFDにより増収となった一方、厳しい市場環境が継続する暗号資産事業の低調、タイ王国での証券事業における貸倒引当金繰入額の計上により減益

(億円)



株主還元 | 配当および配当性向

目標

FY2022

連結配当性向

50%以上 (年4回配当)

1株当たり配当金 (円)

	Q1	Q2	Q3	期末	年間
2022年 12月期	12.50	8.50	0.00	0.00	21.0
2021年 12月期	19.70	11.52	10.10	10.85	52.17

- 2023年12月期の目標連結配当性向は50%以上 (年4回配当)

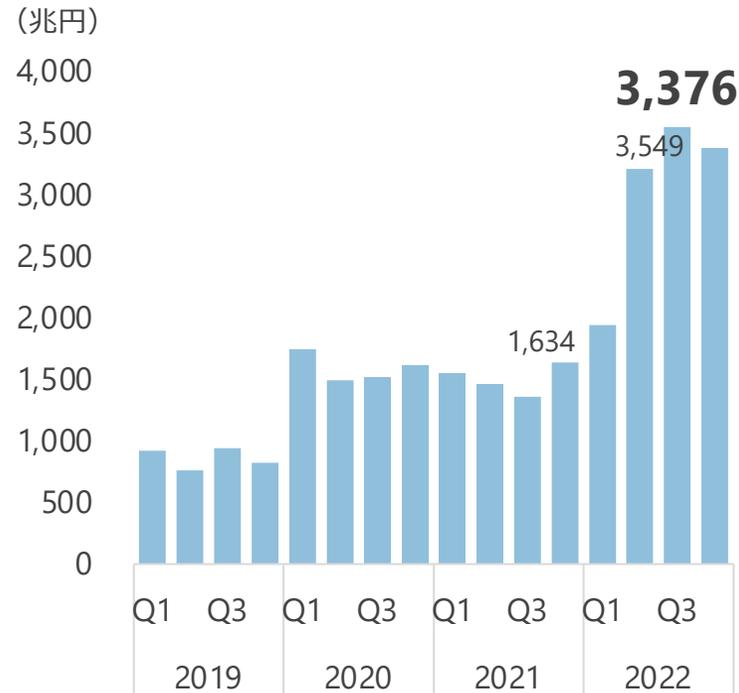
Q4'22 (10-12月) | マーケット環境

2市場個人株式等委託売買代金



ボラの高まりを受けて増加
Y/Y + 10.2%、Q/Q + 17.4%

国内店頭FX取引高



高水準を維持
Q/Qで微減も、Y/Y + 106.5%

国内暗号資産売買代金



Q1'21をピークに
減少傾向で推移

日本取引所グループ、金融先物取引業協会、日本暗号資産取引業協会公表資料より当社作成

※1 日本暗号資産取引業協会が統計情報の公表を開始して以降の業界全体の暗号資産売買代金（取引高）の推移における水準

※2 2022年12月の国内業界全体の暗号資産売買代金（取引高）は未公表

Q4'22（10-12月） | 決算サマリー（前四半期比）

店頭FXの収益性改善などにより前四半期比で増収も、タイ王国での証券事業において貸倒引当金繰入額を計上し、各利益段階は大幅減益の着地

(億円)	Q3'22 (7-9月)	Q4'22 (10-12月)	増減額	Q/Q 増減率
営業収益	105.2	128.3	+23.1	+22.0 %
純営業収益	98.2	120.9	+22.6	+23.1 %
営業利益	20.8	7.7	△13.0	△62.9 %
経常利益	20.8	△ 8.2	△29.1	— %
最終利益	△16.6	△ 13.2	+3.4	— %

Q4'22（10-12月） | セグメント別の状況（前四半期比）

（ ）内は前四半期比

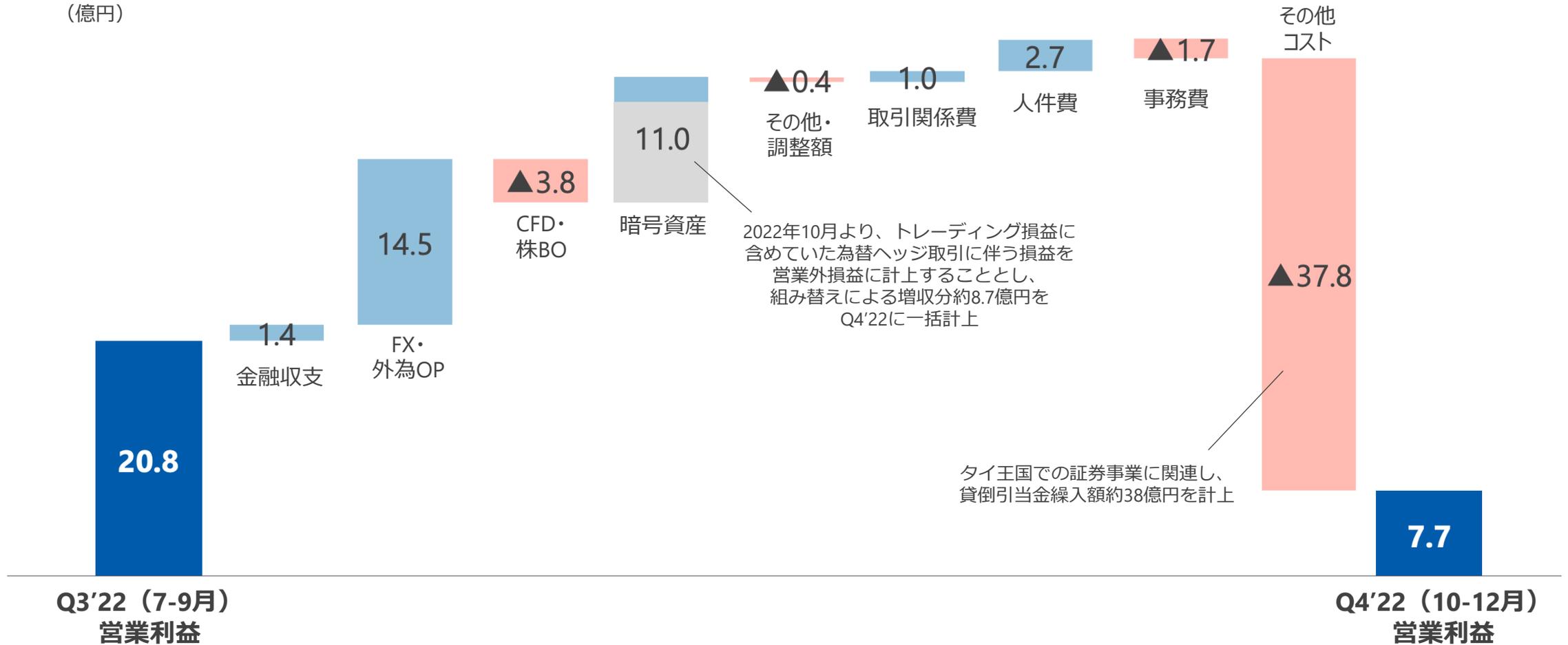
		Q3'22（7-9月）	Q4'22（10-12月）
証券・FX事業	営業収益	99.4 億円	111.4 億円 （ +12.1 % ）
	営業利益	27.2 億円	△ 0.8 億円 （ — % ）
暗号資産事業	営業収益	4.2 億円	15.3 [※] 億円 （ +260.6 % ）
	営業利益	△ 5.5 億円	9.3 億円 （ — % ）

※ 2022年10月からこれまで営業収益のトレーディング損益に含めていた為替ヘッジ取引に伴う損益を営業外損益に計上することとしました。
当該組み替えによる、Q1～Q3'22の期間における増収分約8.7億円を、Q4'22に一括計上しています。

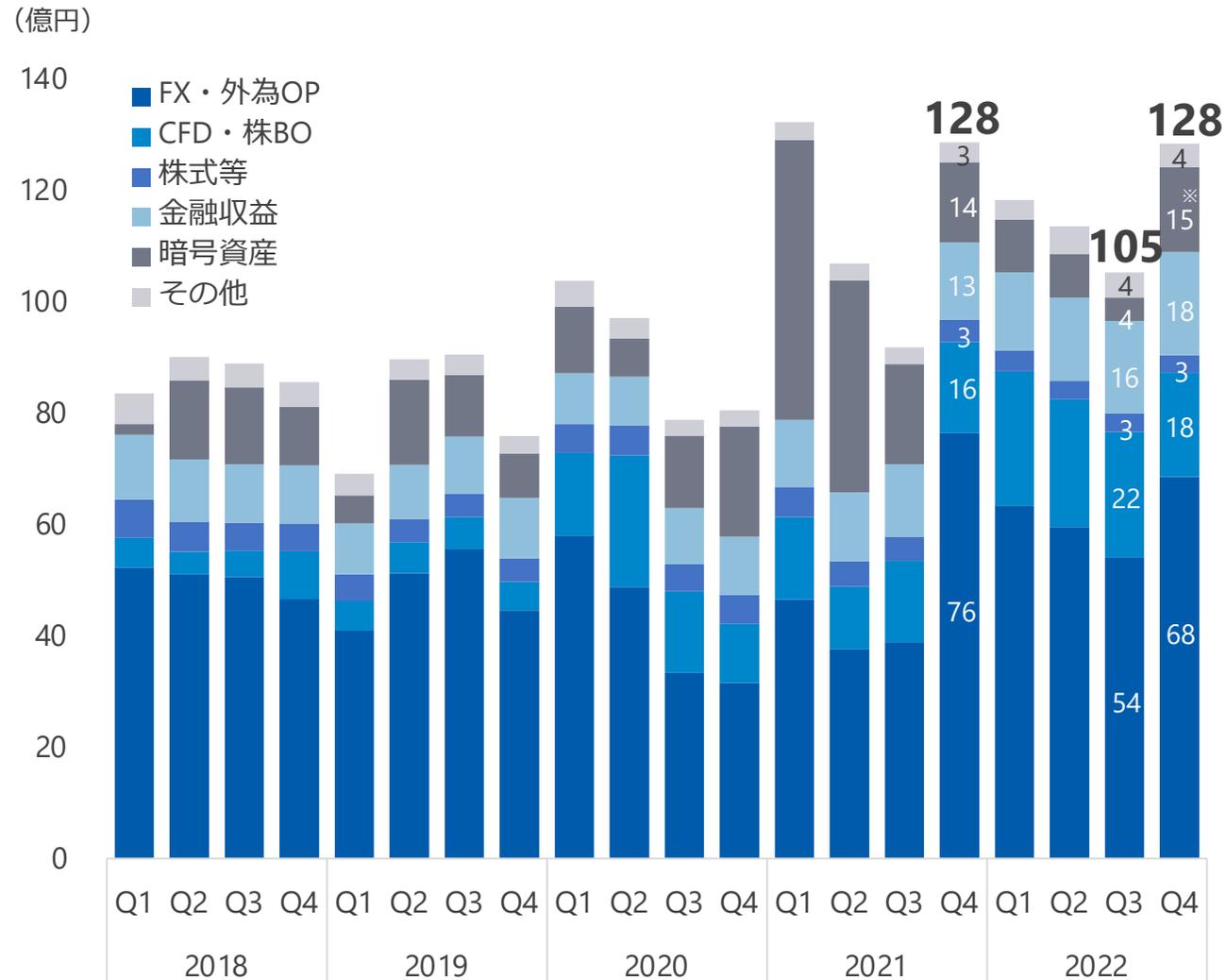
Q4'22 (10-12月) | 営業利益増減 (前四半期比)

FXの収益性改善で収益が増加した一方、タイ証券事業における貸倒引当金繰入額計上で大幅減益

(億円)



四半期業績推移 | 営業収益 (セグメント別/商品別)



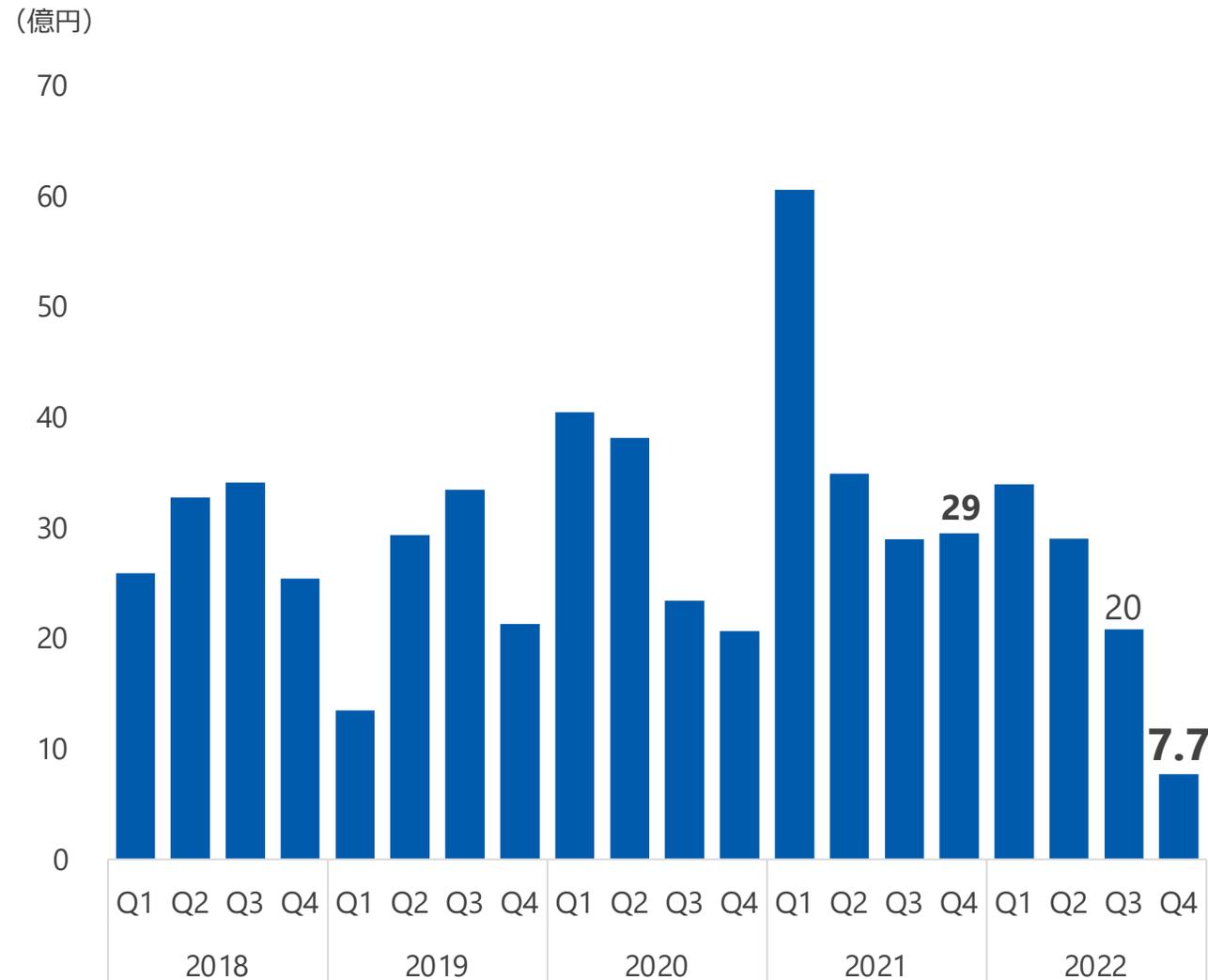
Q/Q **22.0** %増

Y/Y **0.1** %減

店頭FXの収益性改善により営業収益が増加

※ 2022年10月からこれまで営業収益のトレーディング損益に含めていた為替ヘッジ取引に伴う損益を営業外損益に計上することとしました。当該組み替えによる、Q1~Q3'22の期間における増収分約8.7億円を、Q4'22に一括計上しています。

四半期業績推移 | 営業利益

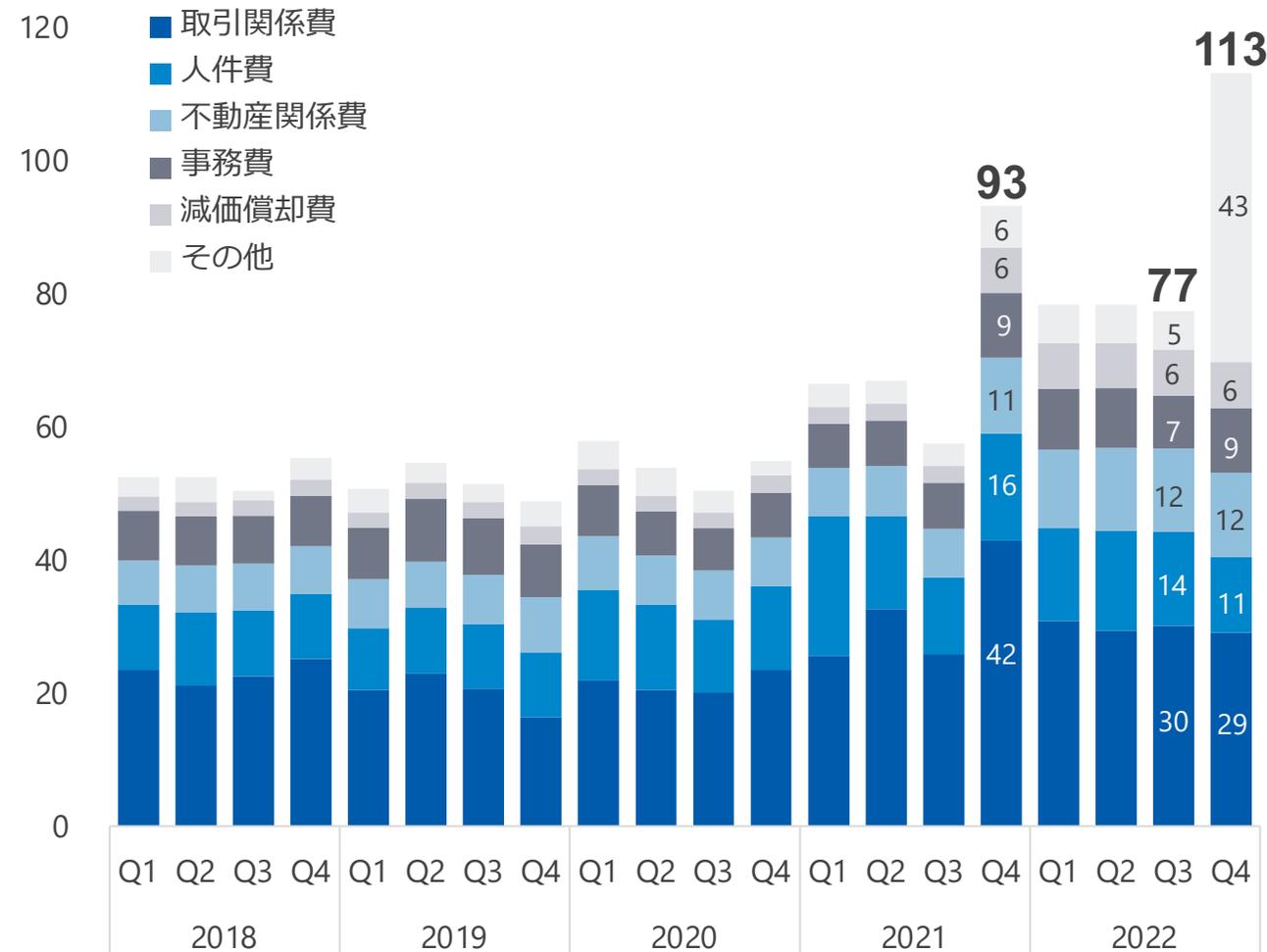


Q/Q **62.9** %減

Y/Y **73.8** %減

四半期業績推移 | 販売費及び一般管理費

(億円)



Q/Q **46.2** %増
Y/Y **21.4** %増

- Y/Yで業績連動の人件費、暗号資産事業における広告宣伝費が減少した一方、タイ王国での証券事業に関連した貸倒引当金繰入額約38億円を計上し大幅増

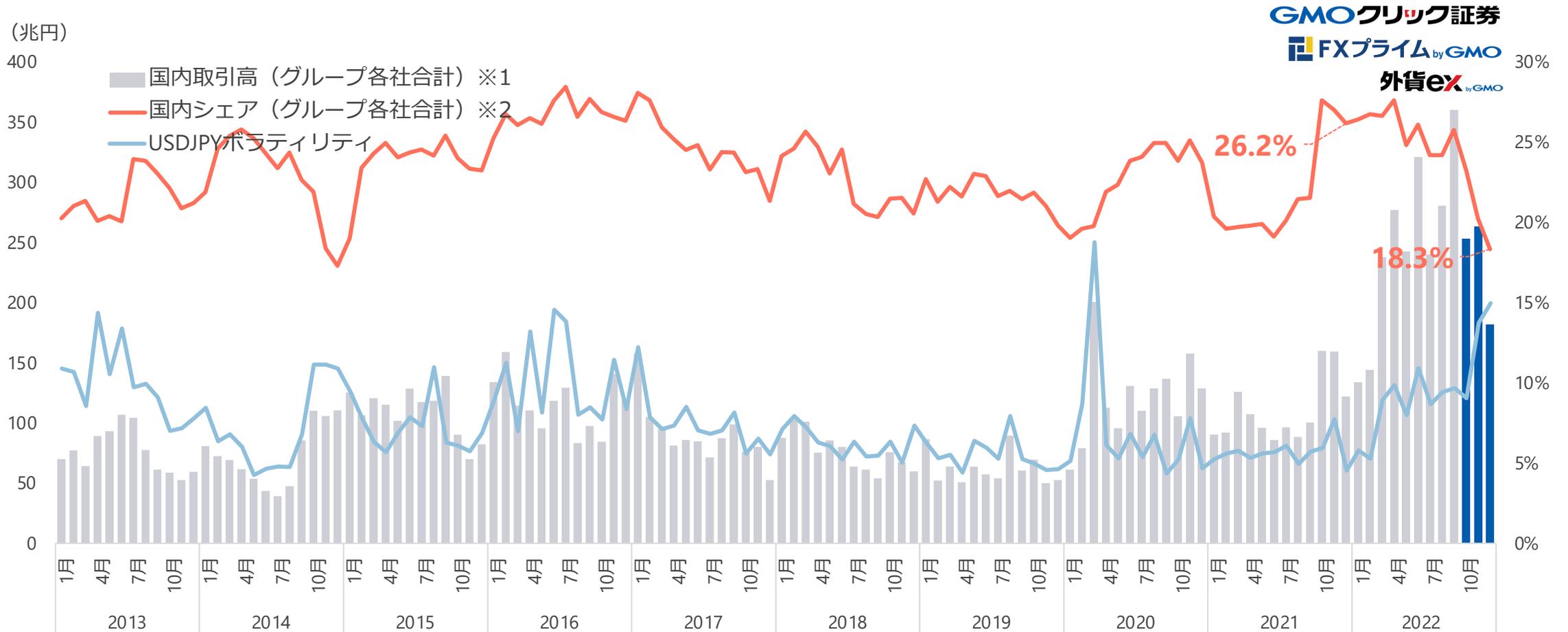
Q1 FY2023の見通し：約77.5億円

証券・FX事業 : 約67億円程度
暗号資産事業 : 約9億円程度
その他 : 約1.5億円程度

- 01 決算概要
- 02 事業の状況**
- 03 今後の展望
- 04 Appendix

店頭FX | 国内取引高シェアの推移

取引量に上限を設定し、シェアが低下

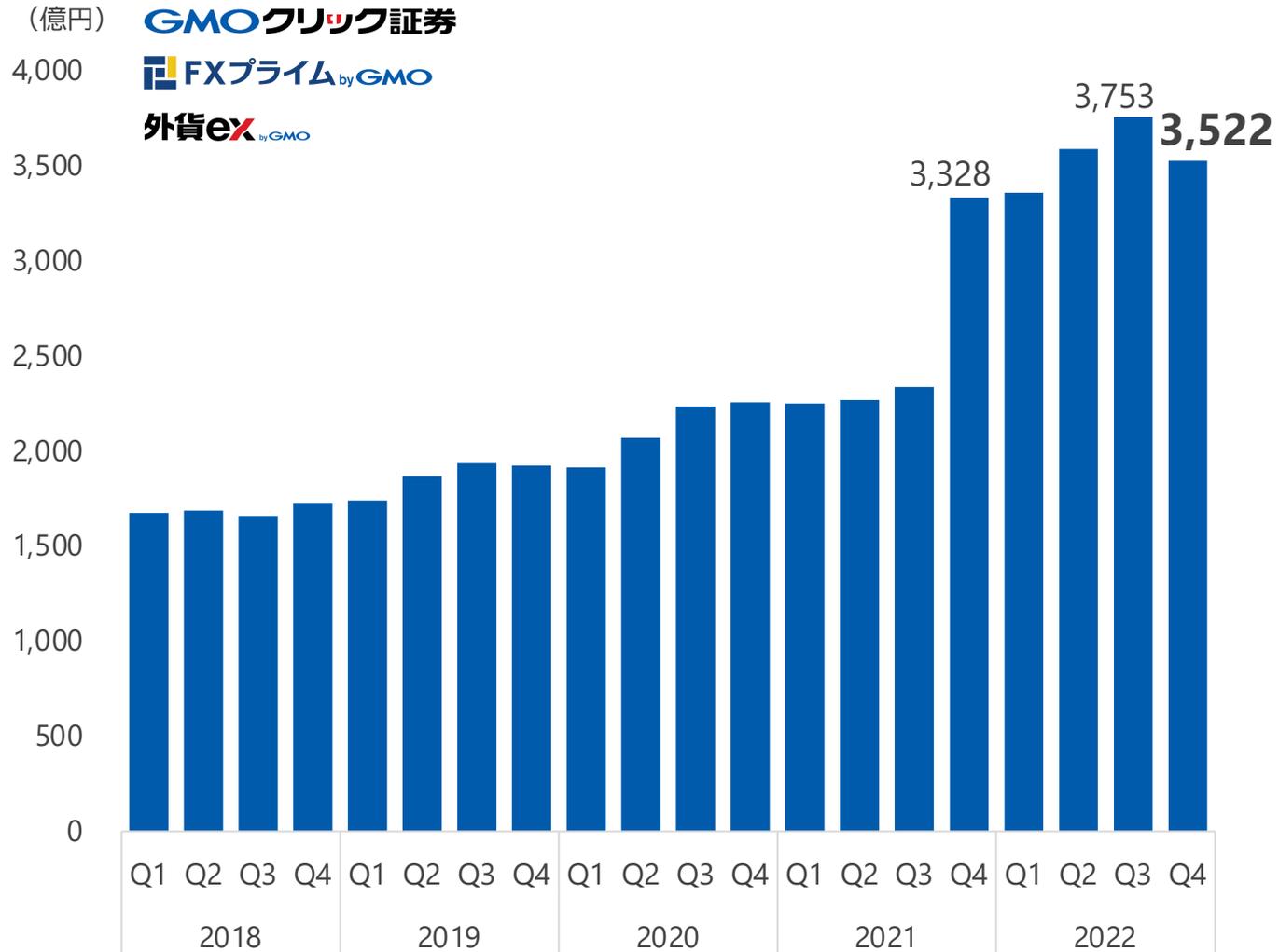


金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成

※1 店頭FX国内取引高：2015年2月以前はGMOクリック証券単体数値。同年3月以降はFXプライムbyGMOを加えた2社の合計値。2021年10月以降は外貨ex byGMOを加えた3社の合計値

※2 店頭FX国内シェア：金融先物取引業協会公表数値を市場全体として算出

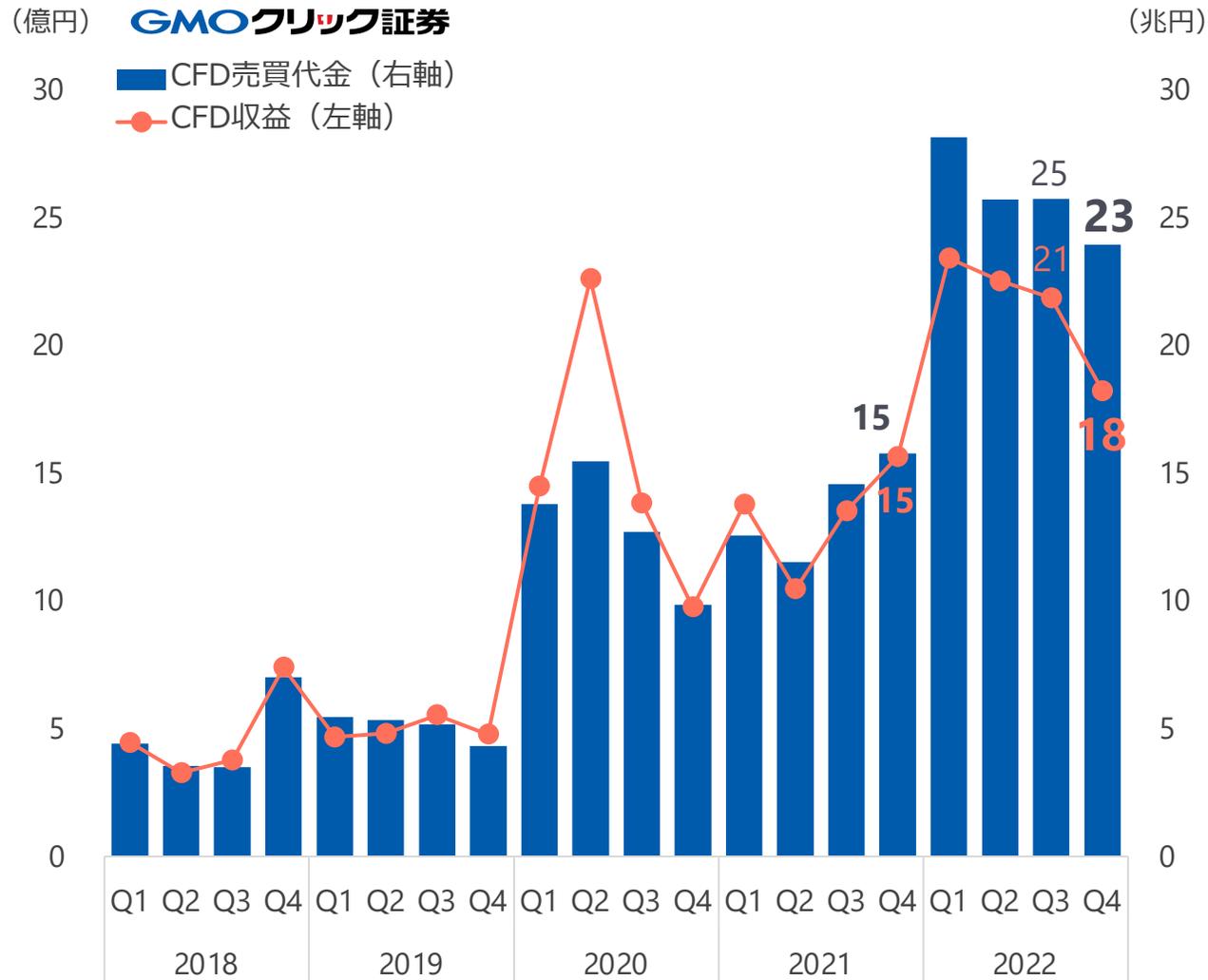
店頭FX | 預り証拠金残高の推移



**3社合計で
3,500億円超**

※ 店頭FX預り証拠金残高は、国内グループ各社の合計値
Q3'21まではGMOクリック証券とFXプライムbyGMOの2社、
Q4'21から外貨ex byGMOを加えた3社

CFD | 売買代金・収益の推移



売買代金

Y/Y **16.5%**増

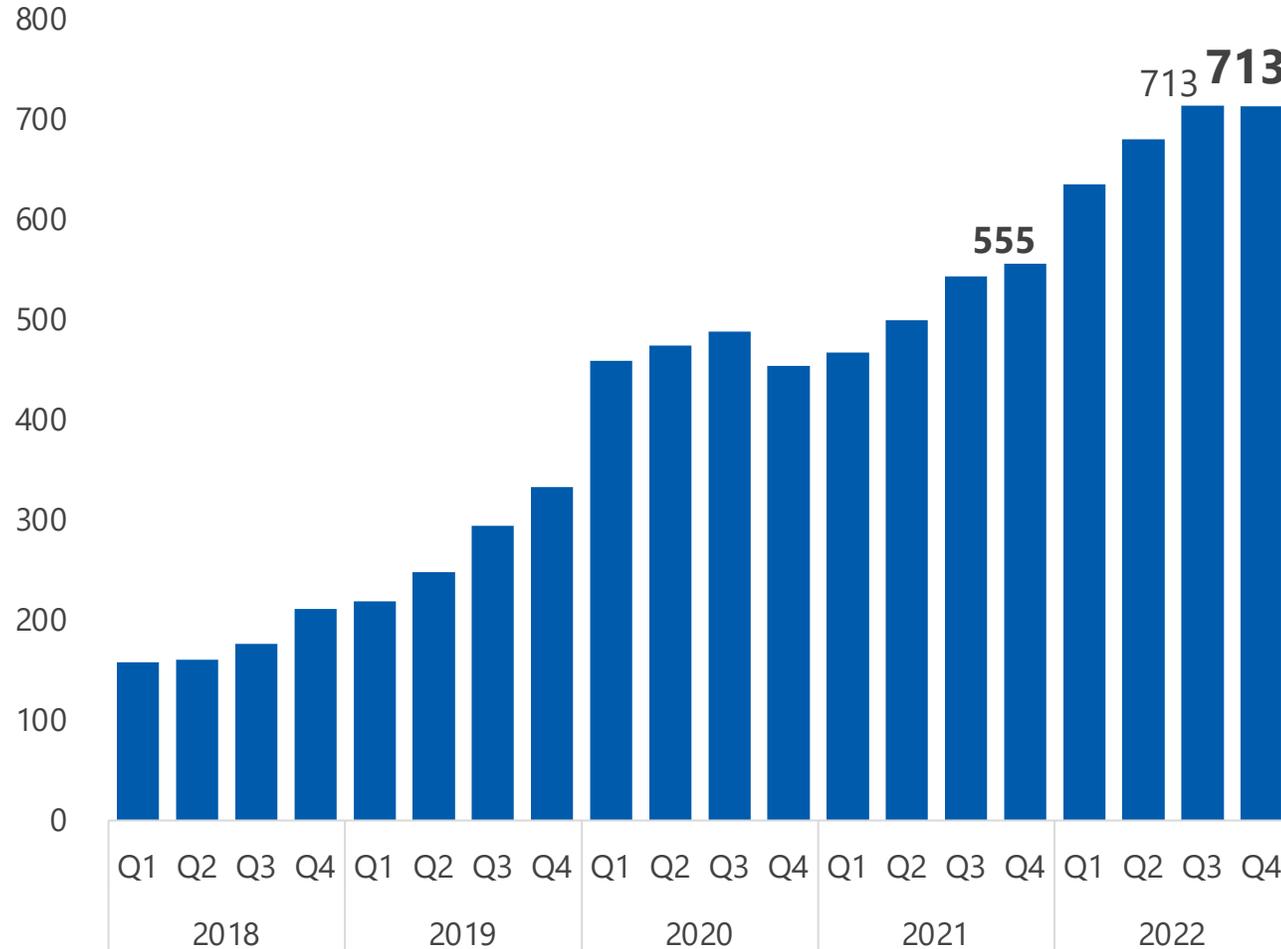
収益

Y/Y **51.9%**増

Q/Qで減少も
高水準で推移

CFD | 預り証拠金残高の推移

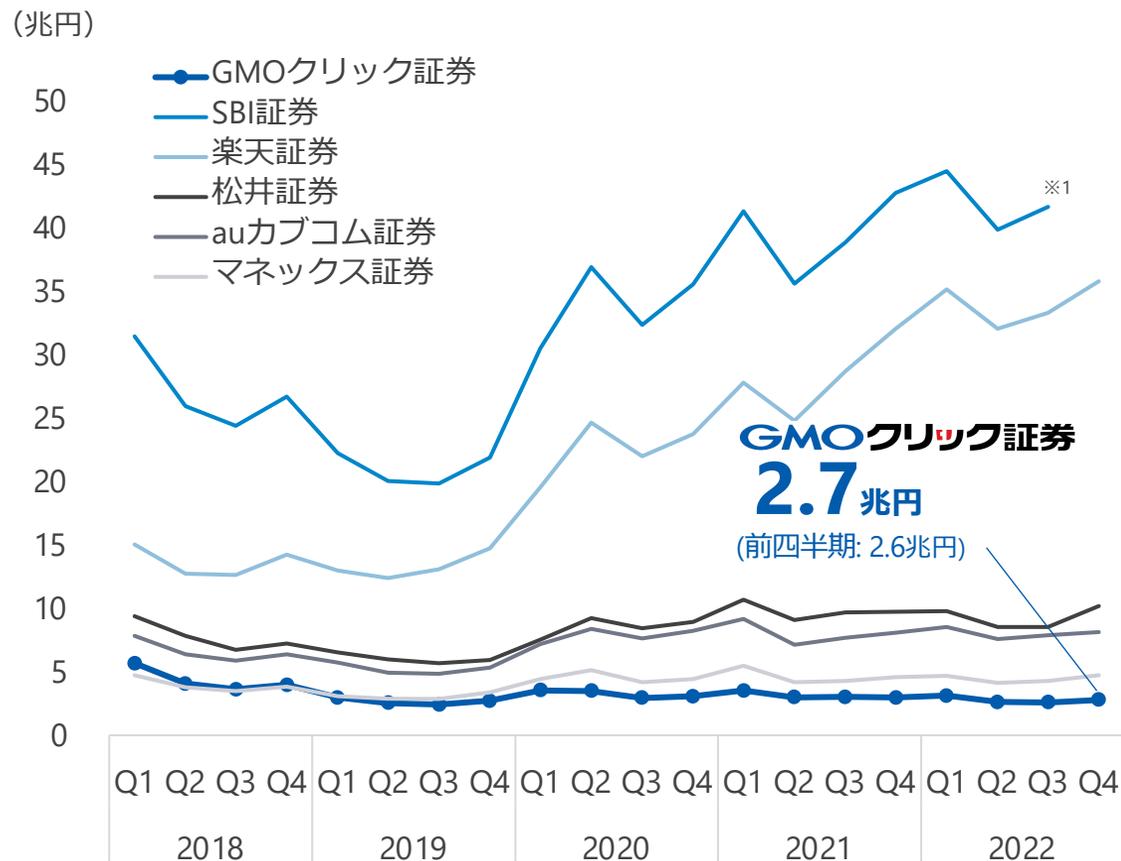
(億円) **GMOクリック証券**



Y/Y **28.4%**増
高水準を維持

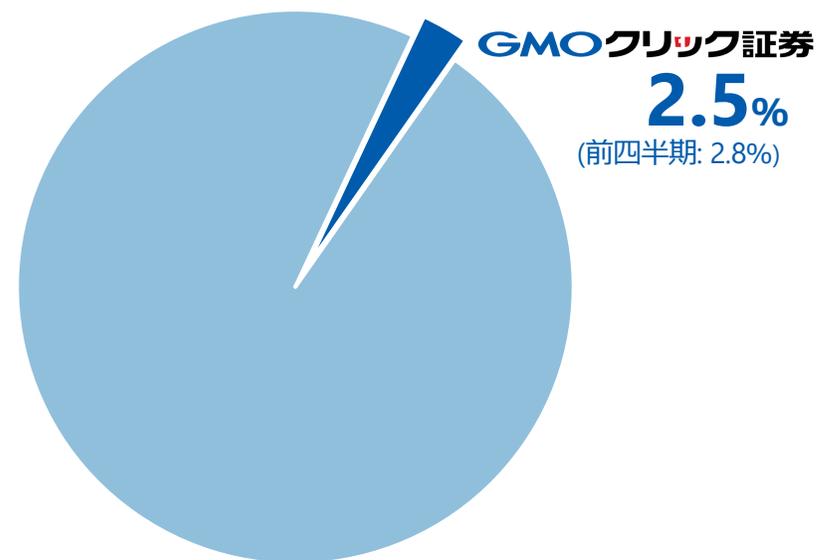
国内株式 | 売買代金

主要ネット証券株式等売買代金推移



2市場に占める個人株式等委託売買代金シェア※2

(2022年10-12月)

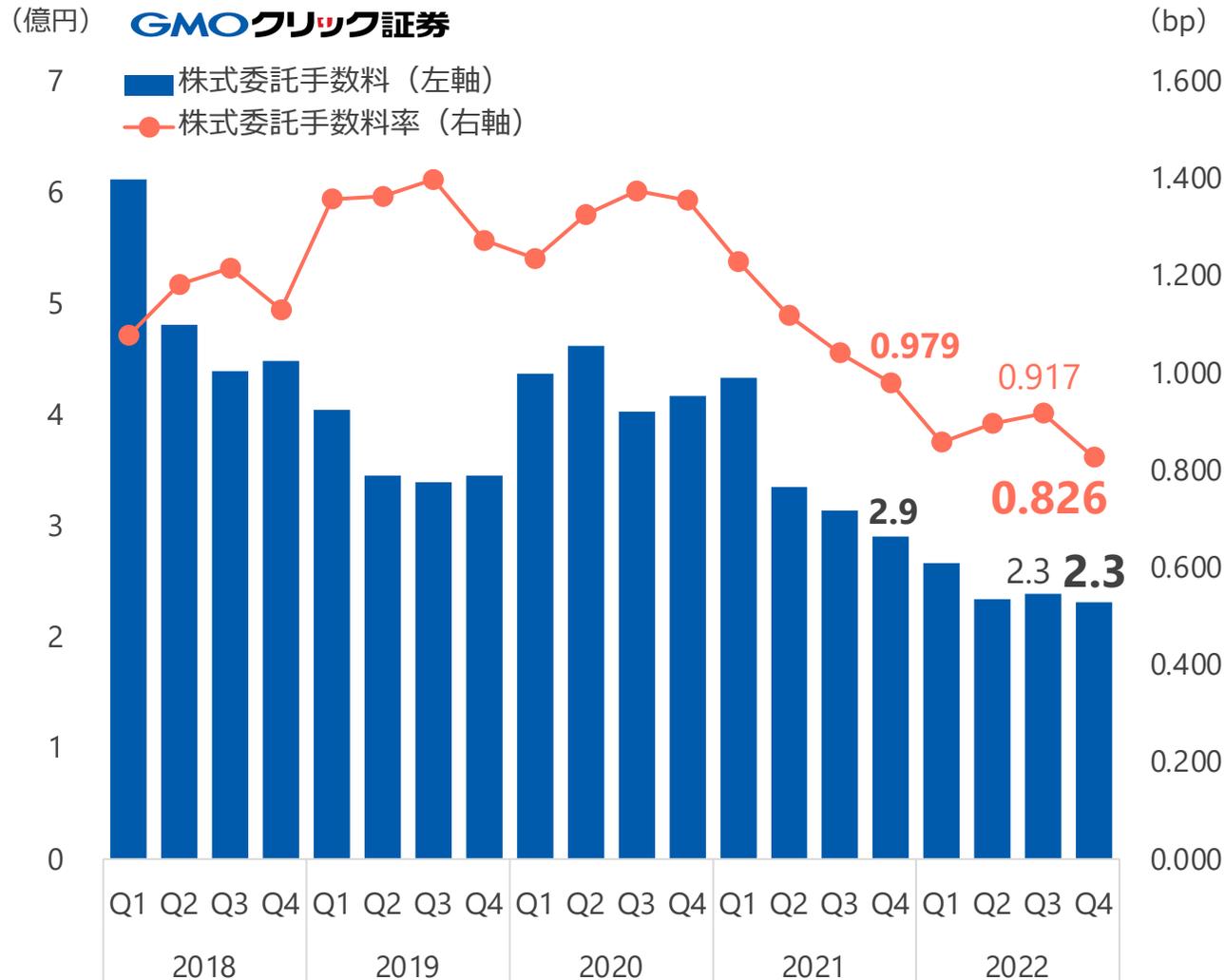


日本取引所グループ、各社公表資料より当社作成

※1 2022年10月～12月のSBI証券の売買代金は2023年1月31日時点で未公表

※2 2市場の個人株式等委託売買代金（ETF・REIT含む）に占めるシェア

国内株式 | 株式委託手数料・委託手数料率の推移



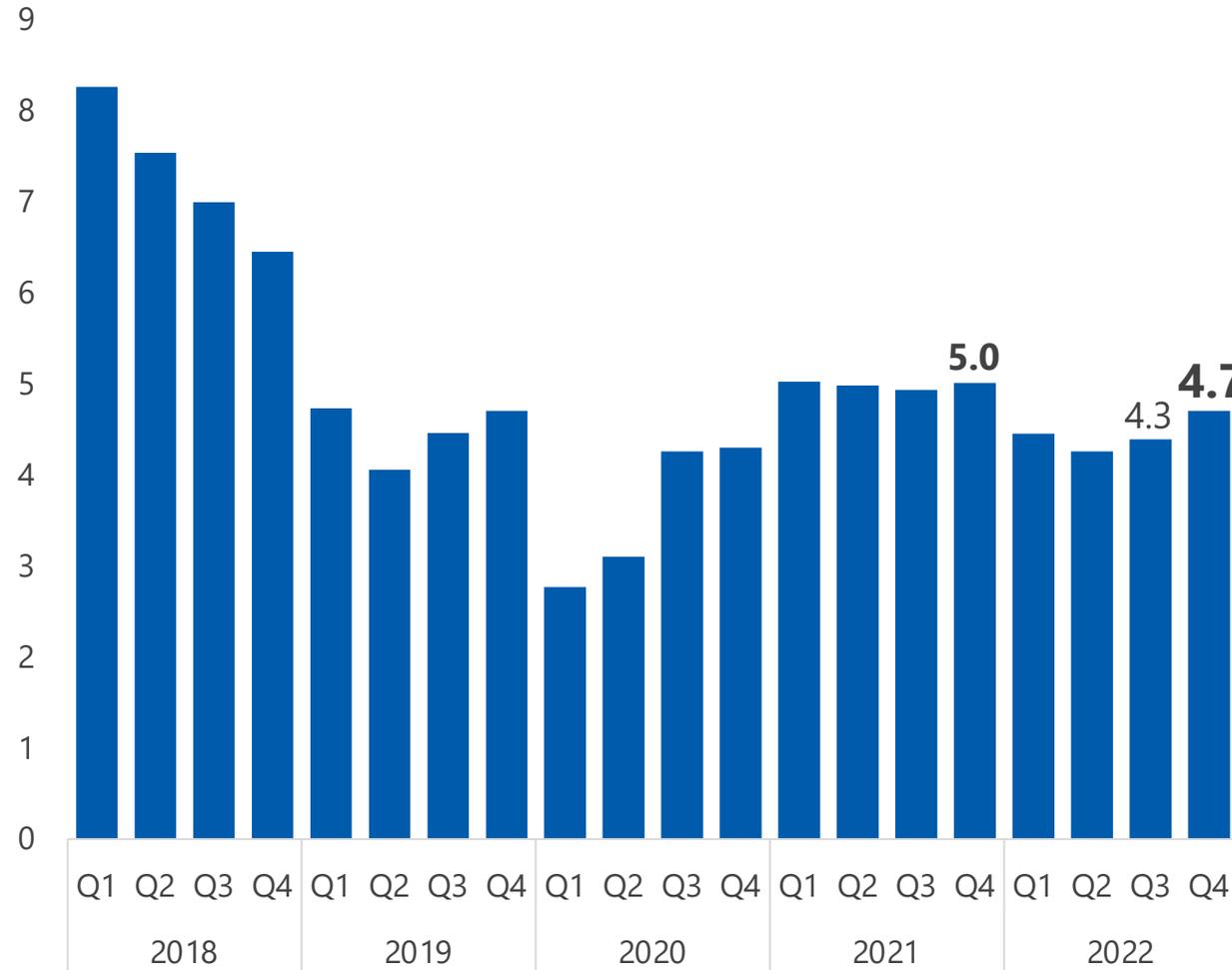
株式委託手数料

Y/Y **20.4%減**

- 2022年10月より27歳以下の現物取引手数料を無料化
- 海外金利の上昇に伴う外貨建て金融商品への投資ニーズを踏まえ、2022年10月より外国債券の取り扱いを再開

国内株式 | 金融収支の推移

(億円) **GMOクリック証券**

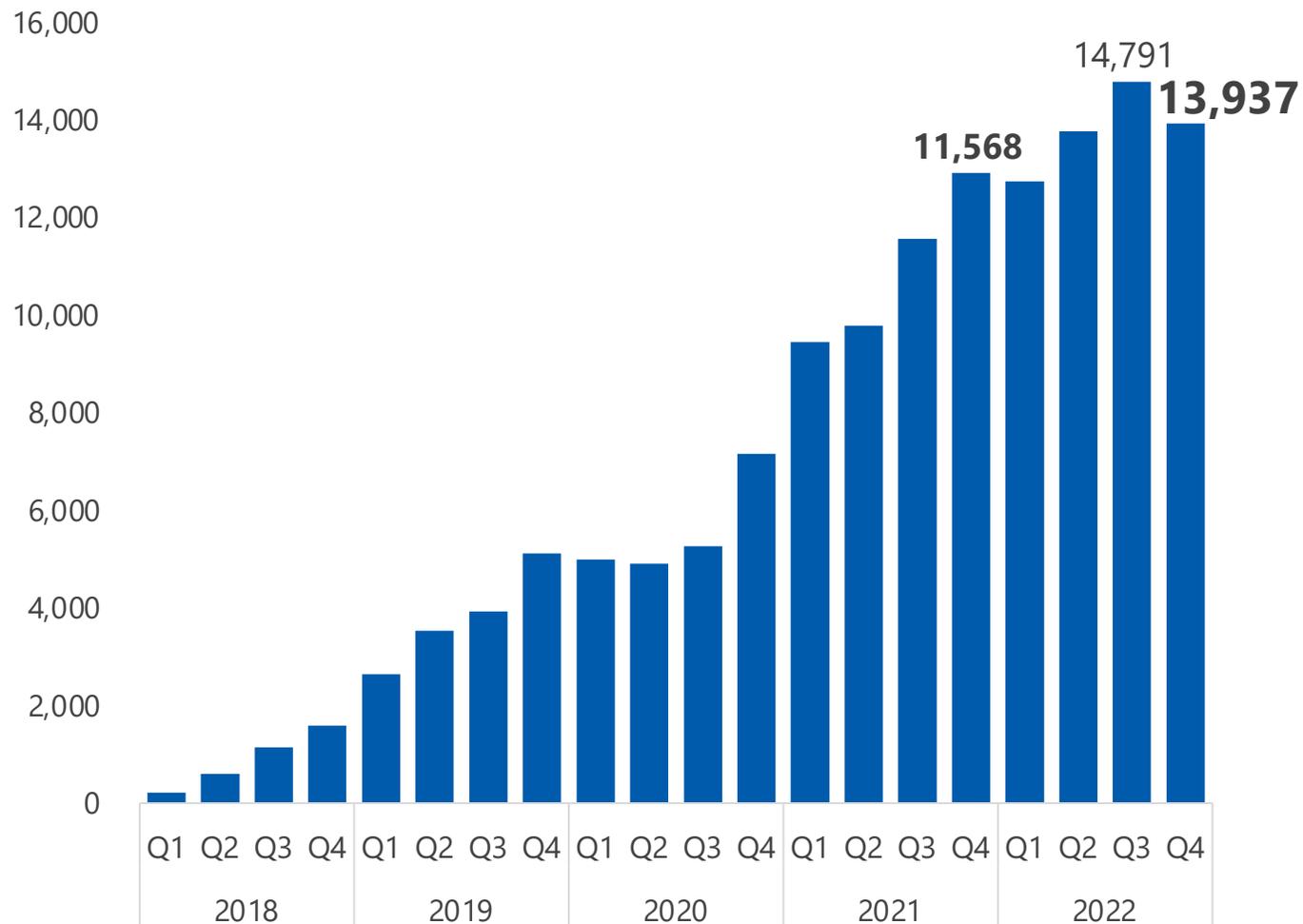


Y/Y

6.1 %減

海外証券（タイ王国） | 信用取引残高の推移

(百万THB) บริษัทหลักทรัพย์ Z.com



Y/Y **7.9** %増

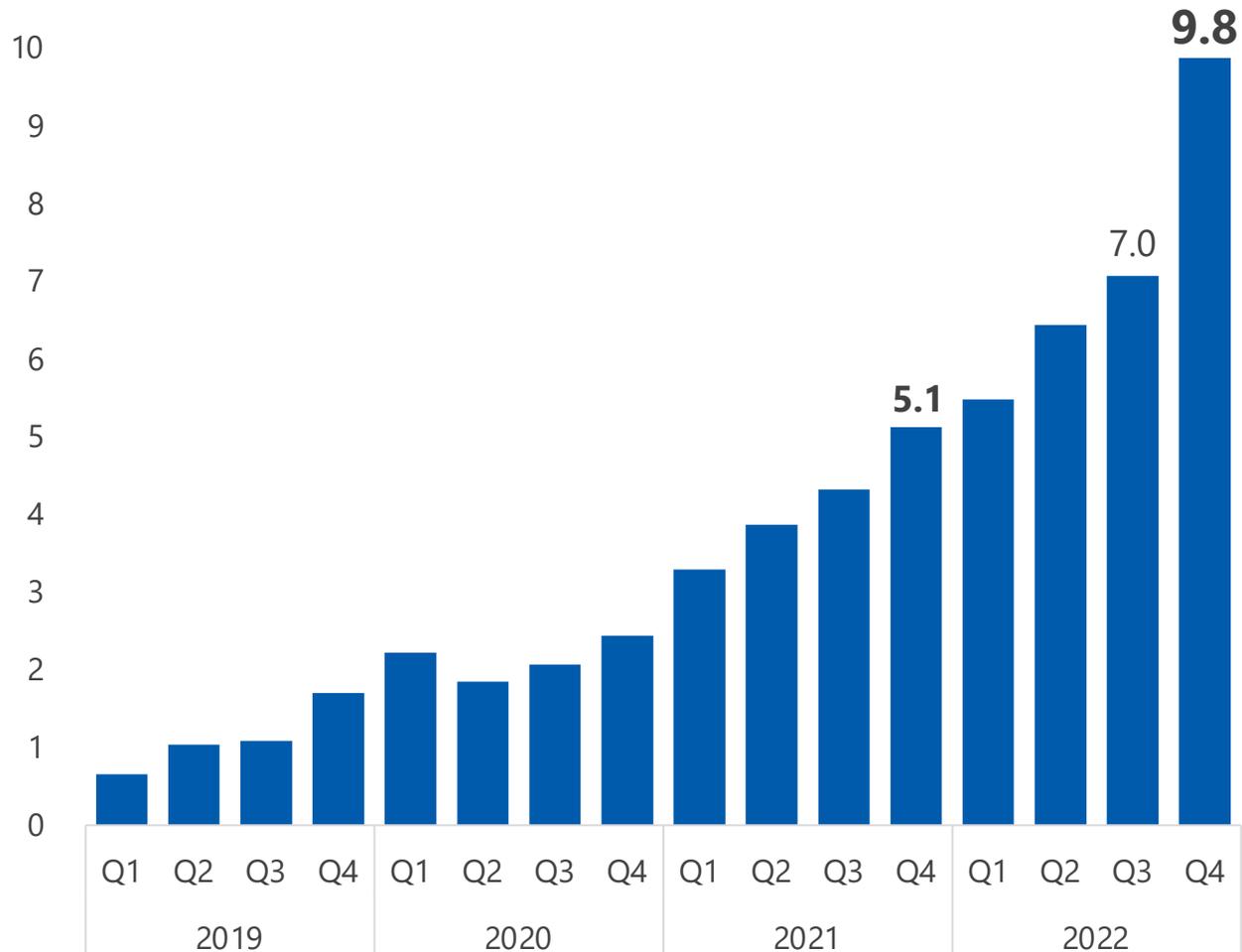
マーケットシェアの状況

- 2021年12月末 : 12.0%
- 2022年3月末 : 11.3%
- 2022年6月末 : 12.5%
- 2022年9月末 : 12.7%
- 2021年12月末 : 12.3%

マーケットシェア：タイ証券取引所公表資料をもとに当社算出

海外証券（タイ王国） | 金融収支の推移

(億円) บริษัทหลักทรัพย์ Z.com

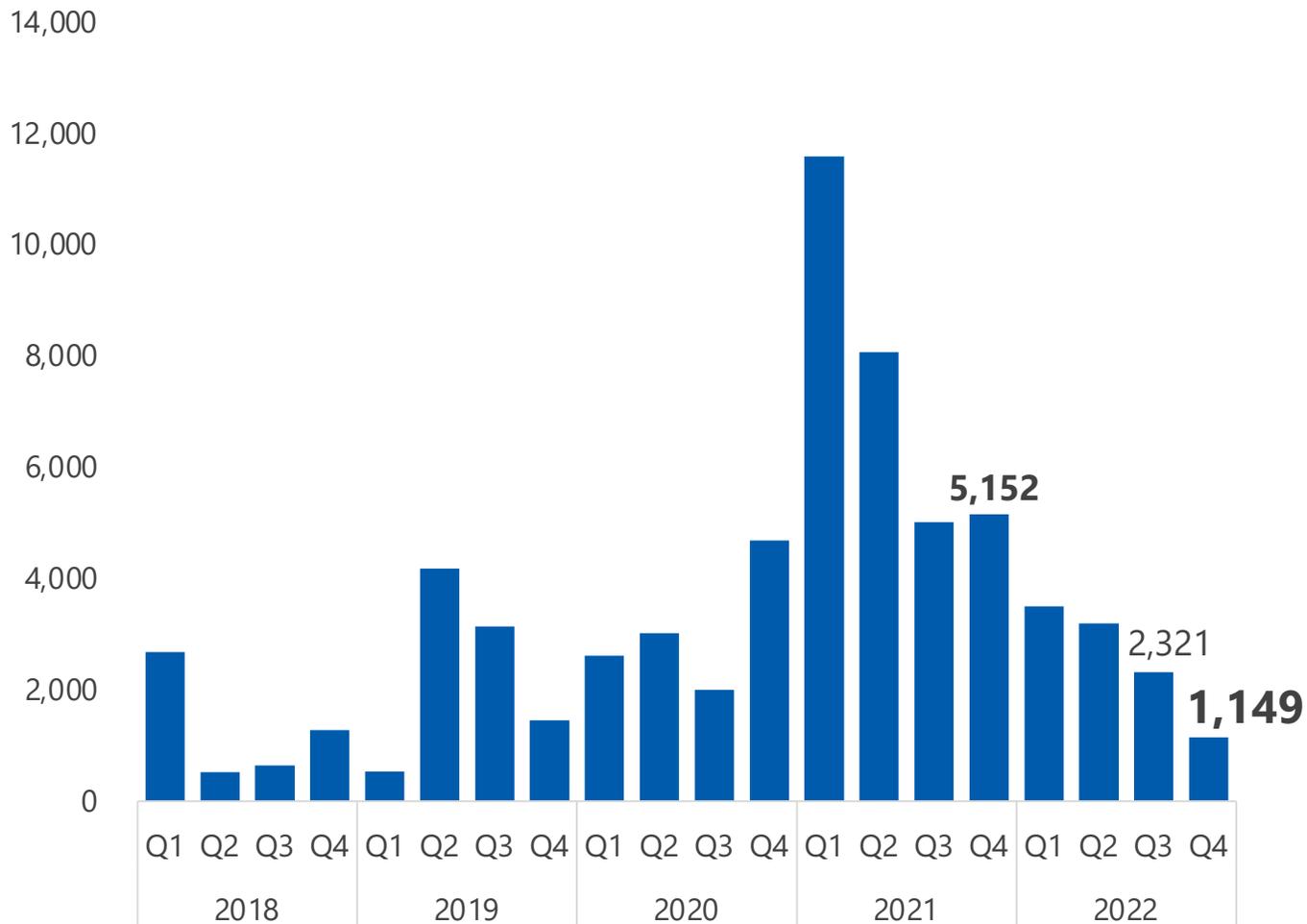


Y/Y **92.7** %増

- 貸倒引当金繰入額約38億円の計上により各段階利益が大幅に減少し赤字に
- タイ証券取引所への上場申請取り下げ

暗号資産 | 売買代金の推移

(10億円) **GMOコイン**



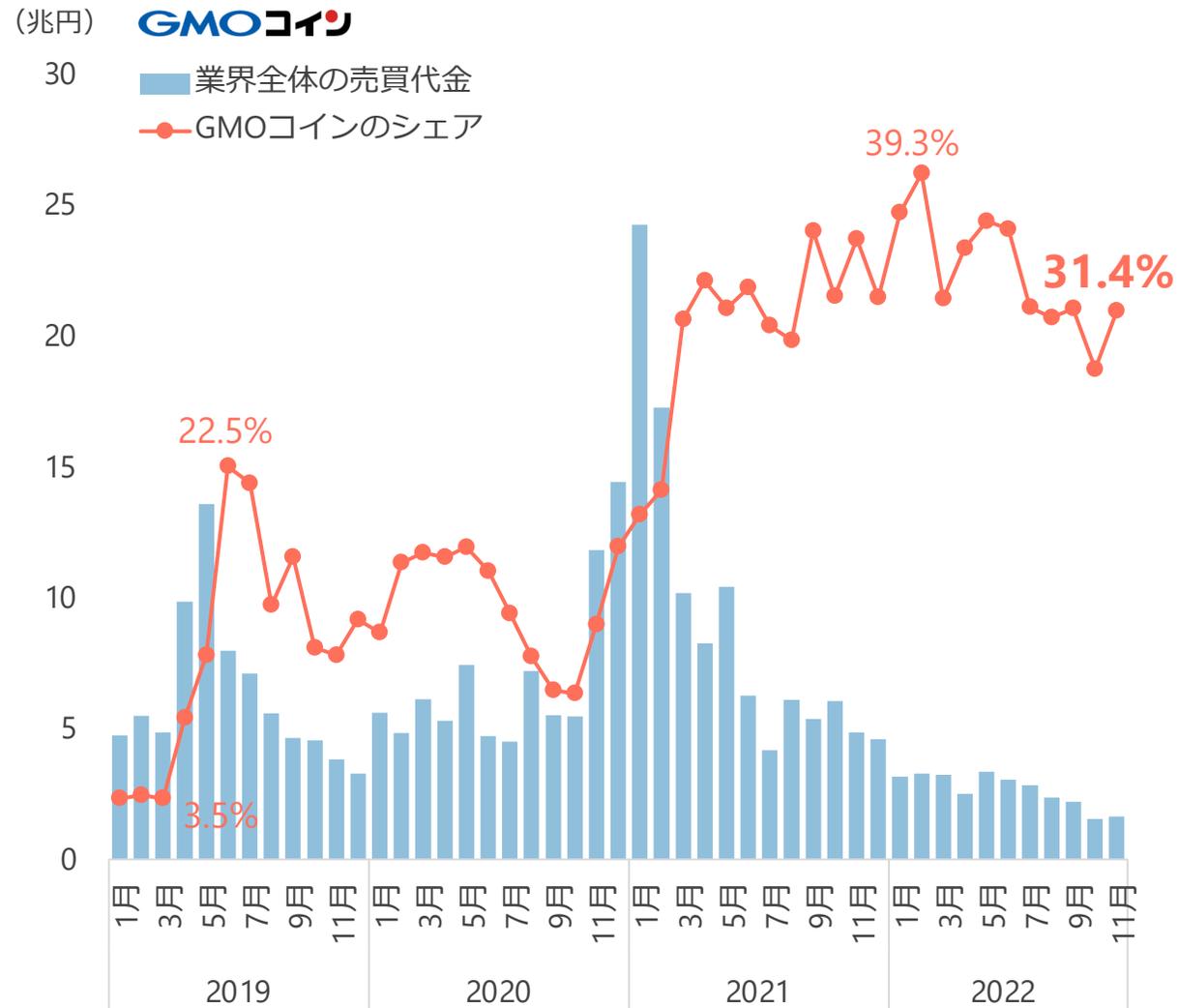
Y/Y **77.7** %減

暗号資産市場の軟調を受けて売買代金は低水準で推移

<Q4'22 主なサービス強化の取り組み>

- 10/12 販売所、つみたて暗号資産にソラナ (SOL) を追加
- 11/02 ステージングにクワンタム (QTUM) を追加
- 11/17 ステージングにポルカドット (DOT) とコスモス (ATOM) を追加
- 12/12 スマートフォンアプリの最新バージョン公開
- 12/21 「Public API」の取得情報を拡充

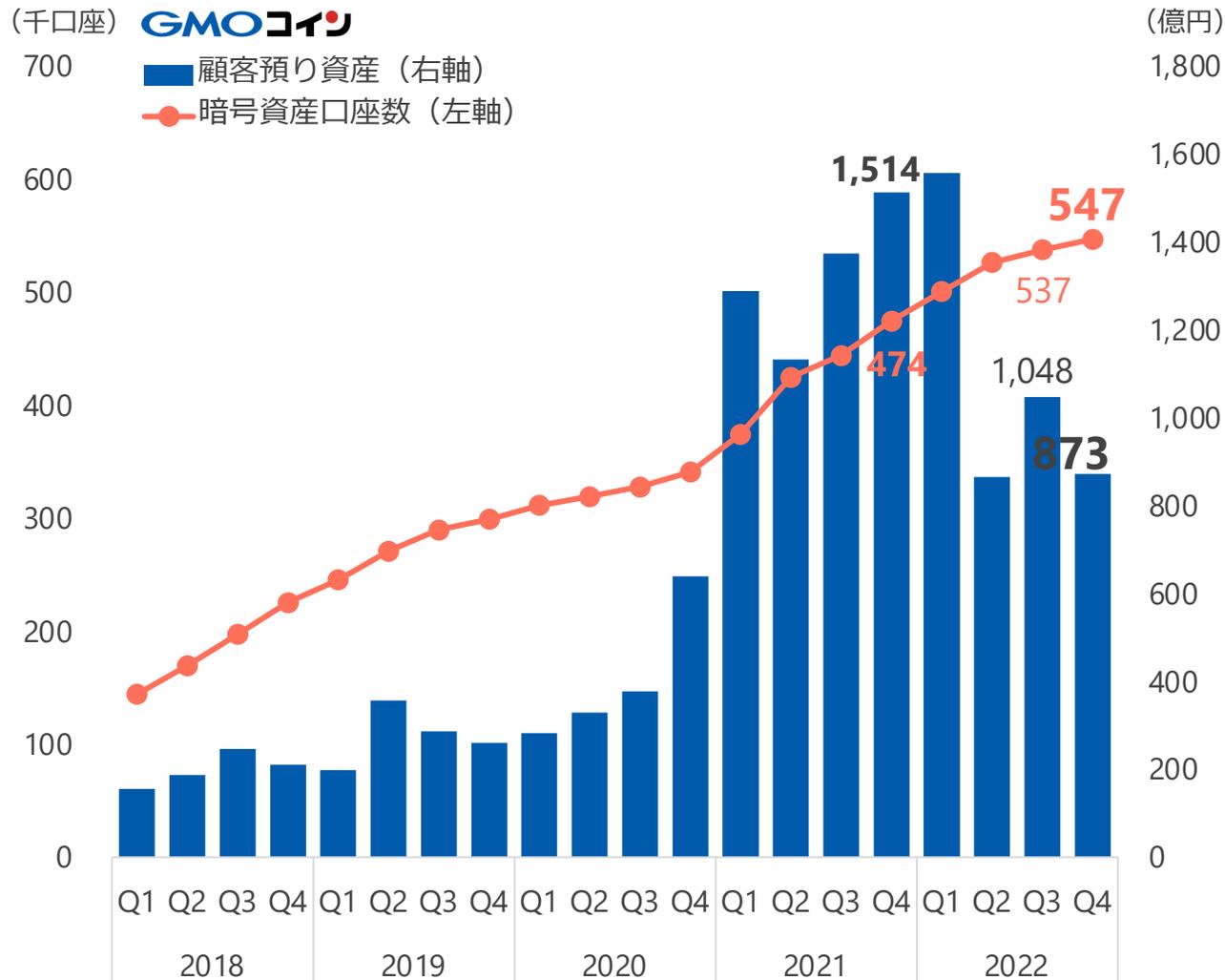
暗号資産 | 売買代金シェア



30%前後で推移

マーケットシェア：日本暗号資産取引業協会公表資料をもとに当社算出

暗号資産 | 口座数と顧客預り資産の推移



口座数

Y/Y **72** 千口座増

顧客預り資産

Y/Y **42.3** %減

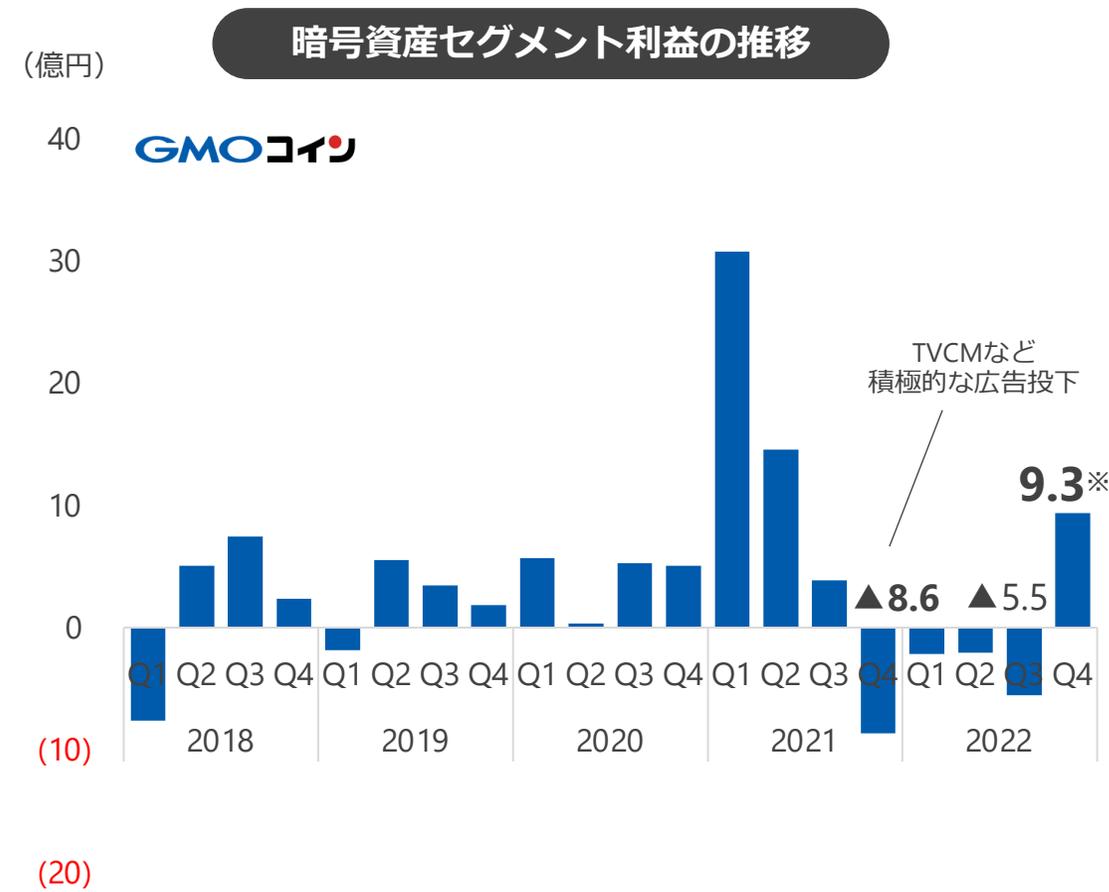
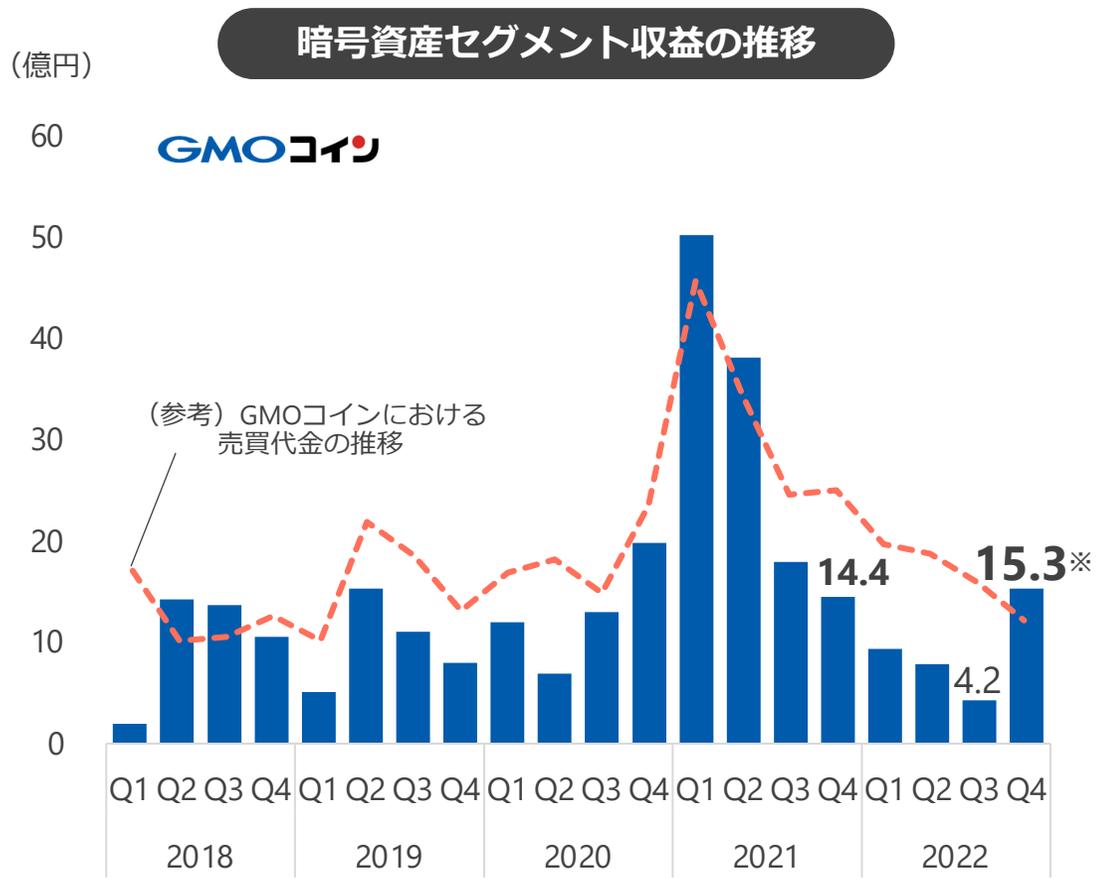
口座数が順調に増加する一方、暗号資産の価格下落により預り資産は減少

- ・ 預り資産の約半数を占める2銘柄の価格は前年同月末で大きく下落*
 - BTC価格：64%下落
 - ETH価格：67%下落
- ・ 暗号資産の保有者数、保有数量は増加

※CoinMarketCapの2021年12月末、2022年12月末の終値（USD）をもとに算出

暗号資産 | セグメント収益・利益の推移

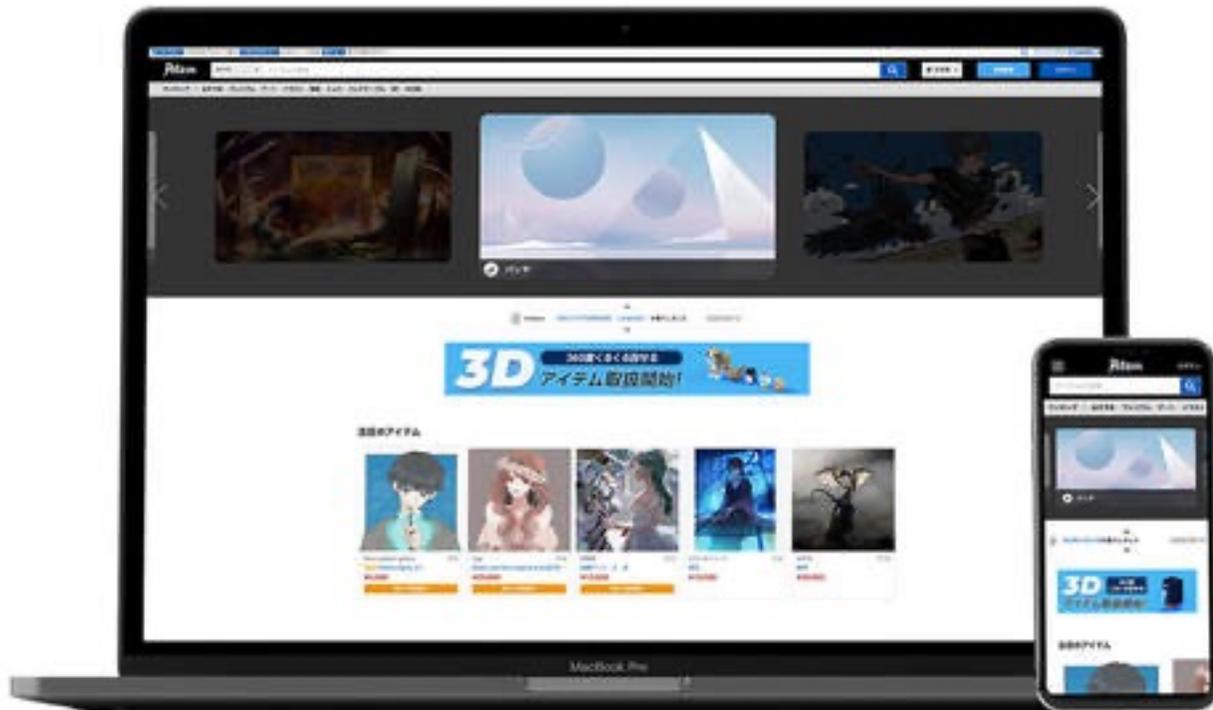
厳しい市場環境が継続する中、法人口座獲得や取扱銘柄・サービス拡充等により、顧客基盤拡大と利益成長を目指す



※ 2022年10月からこれまで営業収益のトレーディング損益に含めていた為替ヘッジ取引に伴う損益を営業外損益に計上することとしました。当該組み替えによる、Q1～Q3'22の期間における増収分約8.7億円を、Q4'22に一括計上しています。

NFT事業

- 2022年はNFTのユーザー数拡大に向け、コンテンツ拡充やサービス改善に注力
- 2022年12月末のユーザー数は前年末比で約8倍、ストア数は約6倍に



NFTの利用拡大に向けた施策

- ユースケース増に向けた機能開発
- クリエイター・出品企業の誘致
- トレンドに合わせた集客施策展開

バーチャルオフィス事業

- 2022年はサービス提供エリアの拡大に注力し、新たに8拠点をオープン
- ユーザー数も順調に拡大

GMO オフィスサポート



- 01 決算概要
- 02 事業の状況
- 03 今後の展望**
- 04 Appendix

FY2023の方針

- **強いものをより強くする**
- **事業ポートフォリオの多角化**
- **組織力強化**

今後の展望 | 各事業・商品における取り組み

FX



- ・ サービスの利便性向上やマーケティング強化による顧客の裾野拡大
- ・ 収益性改善施策の推進

CFD



- ・ クロスセルや収益性改善施策の推進による収益拡大
- ・ 銘柄拡充やサービスの利便性向上による顧客基盤拡大

暗号資産



- ・ 銘柄追加などサービス強化による顧客基盤・収益の拡大
- ・ ストック型商品の提供による収益源の多様化

海外証券

タイ王国



- ・ リスク管理態勢の強化
- ・ ビジネスモデルの再検討

新規

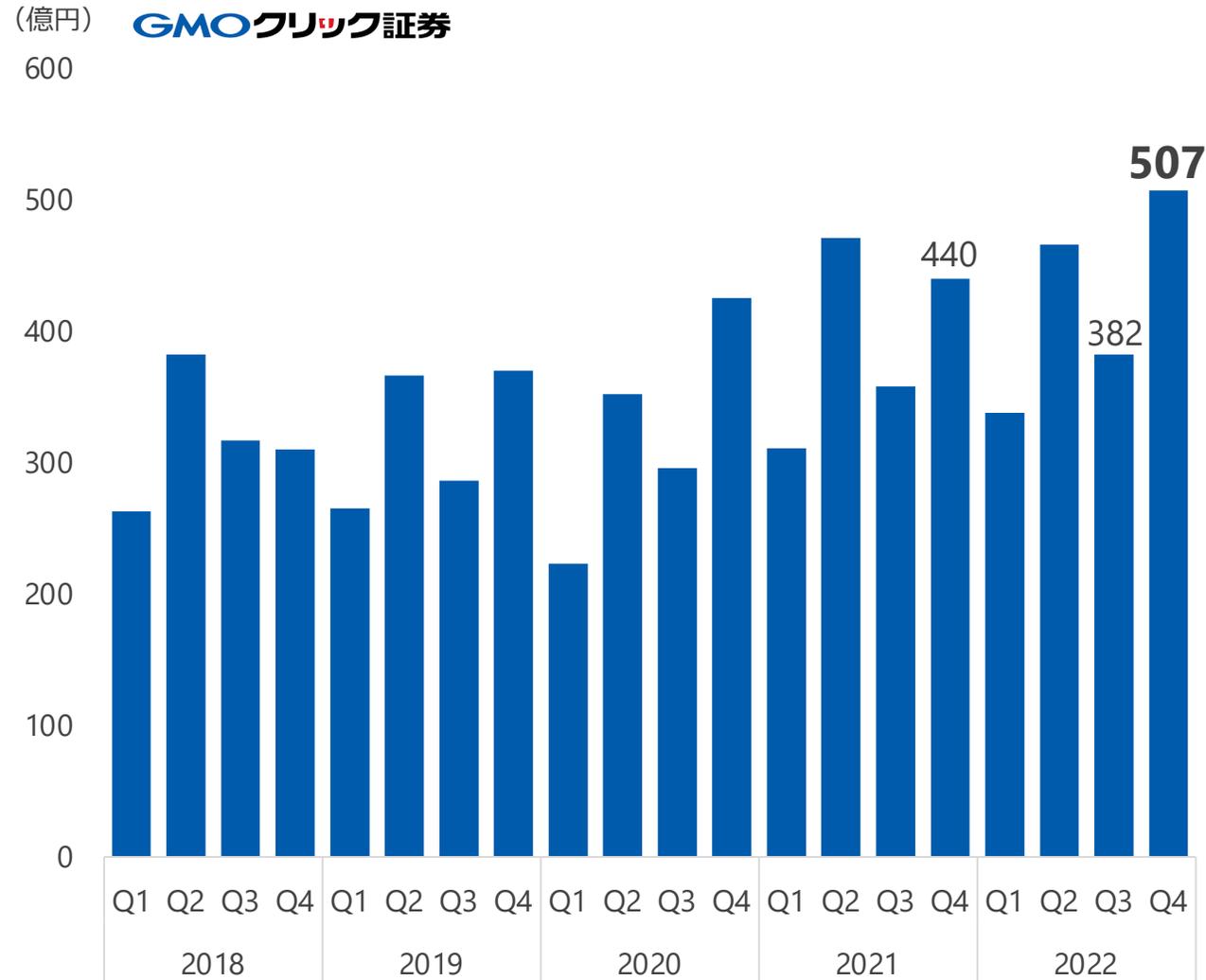
NFT・バーチャルオフィス
その他



- ・ コンテンツ・機能拡充による「Adam byGMO」のユーザー拡大
- ・ 拠点追加によるバーチャルオフィスサービスのユーザー拡大
- ・ 2022年12月に開発拠点としてベトナムに子会社を設立しスピーディなビジネス展開を支える開発体制を強化

- 01 決算概要
- 02 事業の状況
- 03 今後の展望
- 04 Appendix**

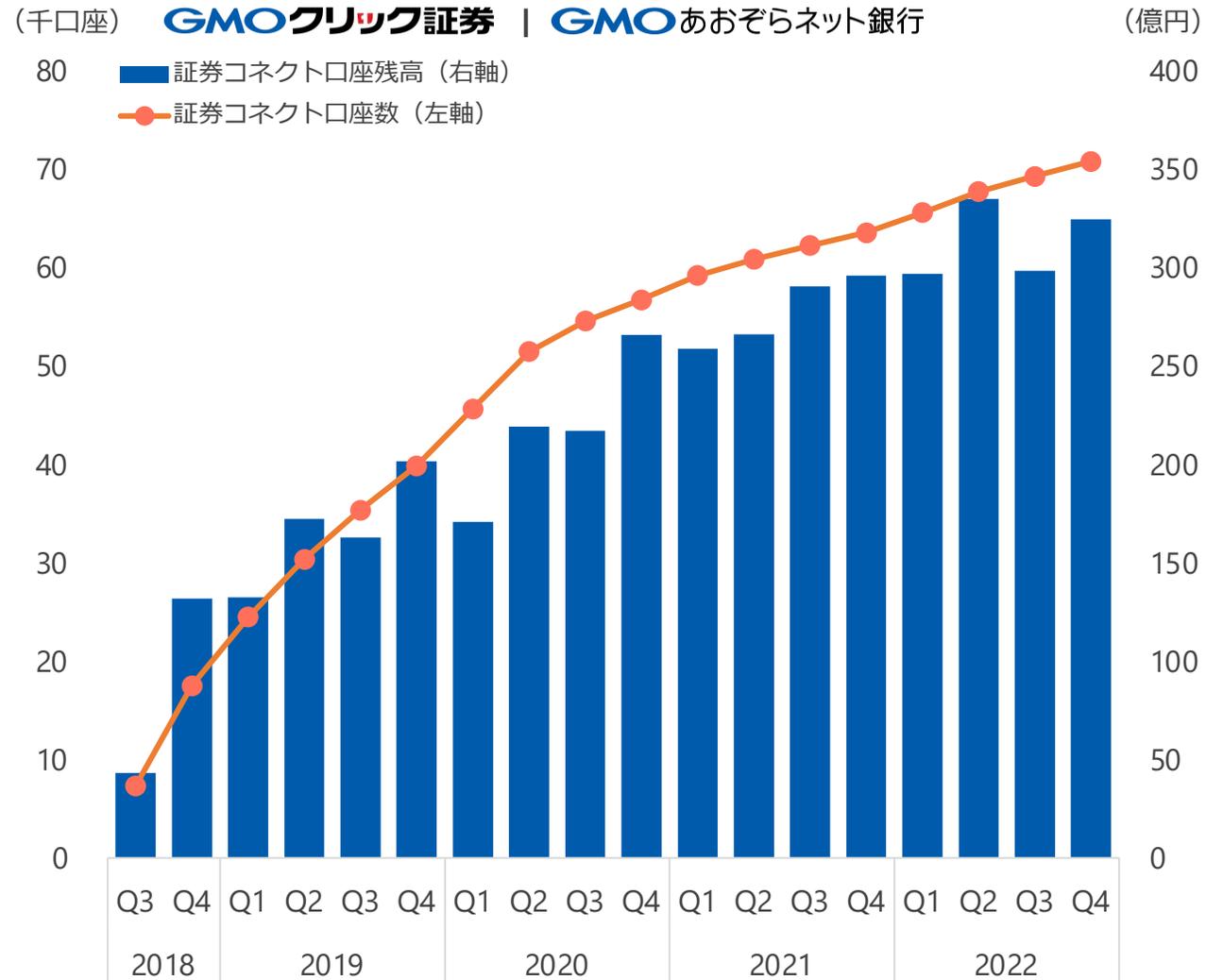
国内株式 | 貸株残高の推移



安定的に推移

足元 (1/31) は606億円

国内株式 | 証券コネクト口座数・残高の推移



口座数は拡大
残高も増加

PLの四半期推移

(単位：百万円)

	2021年12月期				2022年12月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
営業収益	13,216	10,682	9,174	12,850	11,823	11,347	10,524	12,838
受入手数料	1,474	1,241	1,085	1,474	1,063	1,272	991	967
トレーディング損益	10,390	8,047	6,628	9,823	9,201	8,416	7,709	9,852
金融収益	1,202	1,231	1,306	1,391	1,400	1,486	1,649	1,847
その他の営業収益	17	16	13	13	17	23	23	21
その他の売上高	130	145	140	147	139	147	150	148
金融費用	405	392	423	479	502	504	600	653
売上原価	98	105	99	98	93	100	100	94
純営業収益	12,712	10,185	8,651	12,272	11,227	10,742	9,823	12,090
販売費及び一般管理費	6,652	6,695	5,753	9,322	7,833	7,838	7,742	11,319
営業利益又は営業損失(△)	6,059	3,489	2,898	2,949	3,393	2,904	2,081	771
営業外収益又は営業外損失(△)	288	54	△ 12	352	302	153	27	△ 351
営業外費用	24	23	23	△ 29	28	112	21	1,245
経常利益又は経常損失(△)	6,323	3,519	2,861	3,331	3,668	2,945	2,086	△ 825
特別利益	32	74	79	82	—	—	—	—
特別損失	—	3	0	39	2	264	4,142	198
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	6,356	3,590	2,941	3,374	3,666	2,680	△ 2,056	△ 1,023
法人税等	2,046	1,150	978	1,465	1,270	967	△ 151	501
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,718	2,177	1,909	2,052	2,429	1,776	△ 1,668	△ 1,325

※ 2022年10月からこれまで営業収益のトレーディング損益に含めていた為替ヘッジ取引に伴う損益を営業外損益に計上することとしました。当該組み替えによる、Q1～Q3'22の期間における増収分約8.7億円を、Q4'22に一括計上しています。

営業収益（セグメント別/商品別）の四半期推移

（単位：百万円）

	2021年12月期				2022年12月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
証券・FX事業	8,066	6,724	7,238	11,253	10,744	10,412	9,947	11,148
株式・ETF等*	547	454	429	389	379	328	336	312
（内、株式・ETF等委託手数料）	493	396	373	341	327	282	280	261
先物・オプション	41	35	35	40	46	32	29	26
くりっく365	130	104	112	142	150	292	250	232
通貨関連店頭デリバティブ	4,651	3,754	3,881	7,640	6,337	5,946	5,403	6,855
CFD・株BO	1,475	1,127	1,462	1,635	2,408	2,302	2,257	1,869
金融収益	1,202	1,231	1,306	1,391	1,400	1,486	1,649	1,847
その他	17	16	10	13	22	22	21	3
暗号資産事業*	5,016	3,810	1,793	1,447	936	784	424	1,531
暗号資産*	5,016	3,810	1,793	1,447	936	784	424	1,531
その他	133	148	143	149	141	156	159	158
その他	133	148	143	149	141	156	159	158
調整額	—	—	—	—	—	△6	△6	0
調整額	—	—	—	—	—	△6	△6	0
営業収益合計	13,216	10,682	9,174	12,850	11,823	11,347	10,524	12,838

※ 株式・ETF等は、株式・ETF等の取引に係る委託手数料及びその他の受入手数料、募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料、投資信託に係るその他の受入手数料を含む

※ 2022年10月からこれまで営業収益のトレーディング損益に含めていた為替ヘッジ取引に伴う損益を営業外損益に計上することとしました。当該組み替えによる、Q1～Q3'22の期間における増収分約8.7億円を、Q4'22に一括計上しています。

販売費及び一般管理費の四半期推移

(単位：百万円)

	2021年12月期				2022年12月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
取引関係費	2,557	3,264	2,578	4,288	3,080	2,937	3,011	2,909
（内、広告宣伝費）	1,091	2,011	1,352	2,871	1,638	1,533	1,543	1,569
人件費	2,095	1,395	1,157	1,609	1,401	1,503	1,415	1,137
不動産関係費	732	756	734	1,139	1,177	1,246	1,252	1,267
事務費	668	683	693	973	911	899	796	966
減価償却費	246	245	252	690	680	667	685	690
租税公課	278	264	250	286	269	262	266	264
貸倒引当金繰入額	8	3	9	4	0	6	△ 6	3,801
のれん償却額	40	40	40	271	271	271	271	231
その他	24	41	35	58	38	43	50	50
販売費及び一般管理費	6,652	6,695	5,753	9,322	7,833	7,838	7,742	11,319

セグメント別業績の四半期推移

(単位：百万円)

	2021年12月期				2022年12月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
証券・FX事業								
営業収益	8,066	6,724	7,238	11,253	10,744	10,412	9,947	11,148
営業利益	2,948	1,989	2,491	3,927	3,677	3,180	2,722	△ 85
暗号資産事業*								
営業収益	5,016	3,810	1,793	1,447	936	784	424	1,531
営業利益	3,076	1,457	387	△ 865	△ 214	△ 203	△ 553	937

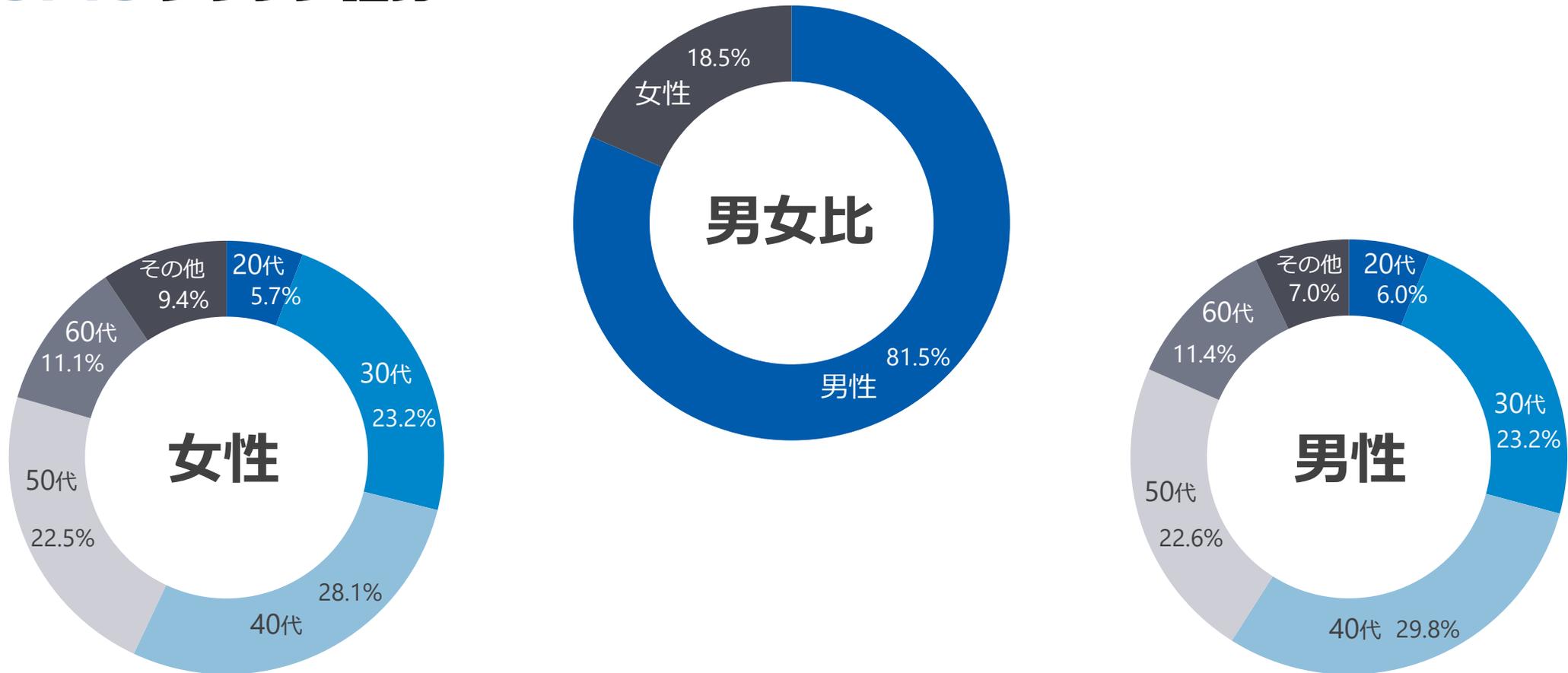
※ 2022年10月からこれまで営業収益のトレーディング損益に含めていた為替ヘッジ取引に伴う損益を営業外損益に計上することとしました。
当該組み替えによる、Q1～Q3'22の期間における増収分約8.7億円を、Q4'22に一括計上しています。

主要KPIの四半期推移

	2021年12月期				2022年12月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
GMOクリック証券								
株式								
株式売買代金 (百万円)	3,527,853	2,993,040	3,010,677	2,964,329	3,108,242	2,609,821	2,603,619	2,797,174
株式約定件数 (件)	2,939,627	2,298,057	2,338,434	2,337,880	2,438,088	2,155,539	2,245,974	2,124,613
信用取引残高 (百万円)	107,510	100,708	109,799	105,747	99,796	94,501	109,325	109,764
店頭FX								
店頭FX売買代金 (億円)	2,861,164	2,658,292	2,639,020	3,076,991	3,532,048	6,305,498	6,624,164	5,058,489
店頭FX取引数量 (百万通貨)	2,799,021	2,500,034	2,528,197	2,954,862	3,187,236	5,067,296	4,963,772	3,794,266
店頭FX預り証拠金残高 (百万円)	206,988	208,996	215,322	210,558	217,233	233,386	247,030	231,993
CFD								
CFD売買代金 (億円)	125,587	115,239	145,716	157,562	281,332	256,918	257,325	239,287
全商品								
全商品預り資産 (百万円)	961,324	937,724	948,118	923,913	953,461	949,763	969,652	959,068
口座数								
証券取引口座数 (口座)	463,562	470,033	475,060	479,534	487,107	494,118	499,658	505,589
FXネオ取引口座数 (口座)	709,122	717,737	726,792	734,140	742,747	752,207	761,111	771,555
CFD取引口座数 (口座)	152,723	157,416	161,144	164,561	170,845	176,413	180,605	185,247
FXプライムbyGMO								
店頭FX売買代金 (億円)	230,750	243,934	220,219	313,442	322,454	243,358	187,188	147,711
店頭FX取引数量 (百万通貨)	230,214	228,780	207,175	286,381	280,031	199,485	146,768	116,536
店頭FX預り証拠金残高 (百万円)	17,775	17,495	18,065	17,248	16,606	17,416	17,255	16,341
取引口座数 (口座)	210,086	211,264	211,941	212,353	212,722	213,739	214,849	215,074
外貨ex byGMO								
店頭FX売買代金 (億円)				1,043,879	1,312,357	1,858,545	2,057,176	1,776,502
店頭FX取引数量 (百万通貨)				985,310	1,170,148	1,487,920	1,546,444	1,322,585
店頭FX預り証拠金残高 (百万円)				105,054	101,731	107,573	111,039	103,935
取引口座数 (口座)				426,105	428,956	432,007	436,207	439,953
GMOコイン								
暗号資産売買代金 (百万円)	11,575,940	8,062,960	5,007,898	5,152,841	3,497,459	3,199,458	2,321,294	1,149,396
取引口座数 (口座)	374,640	424,954	444,459	474,863	500,801	526,759	537,771	547,327

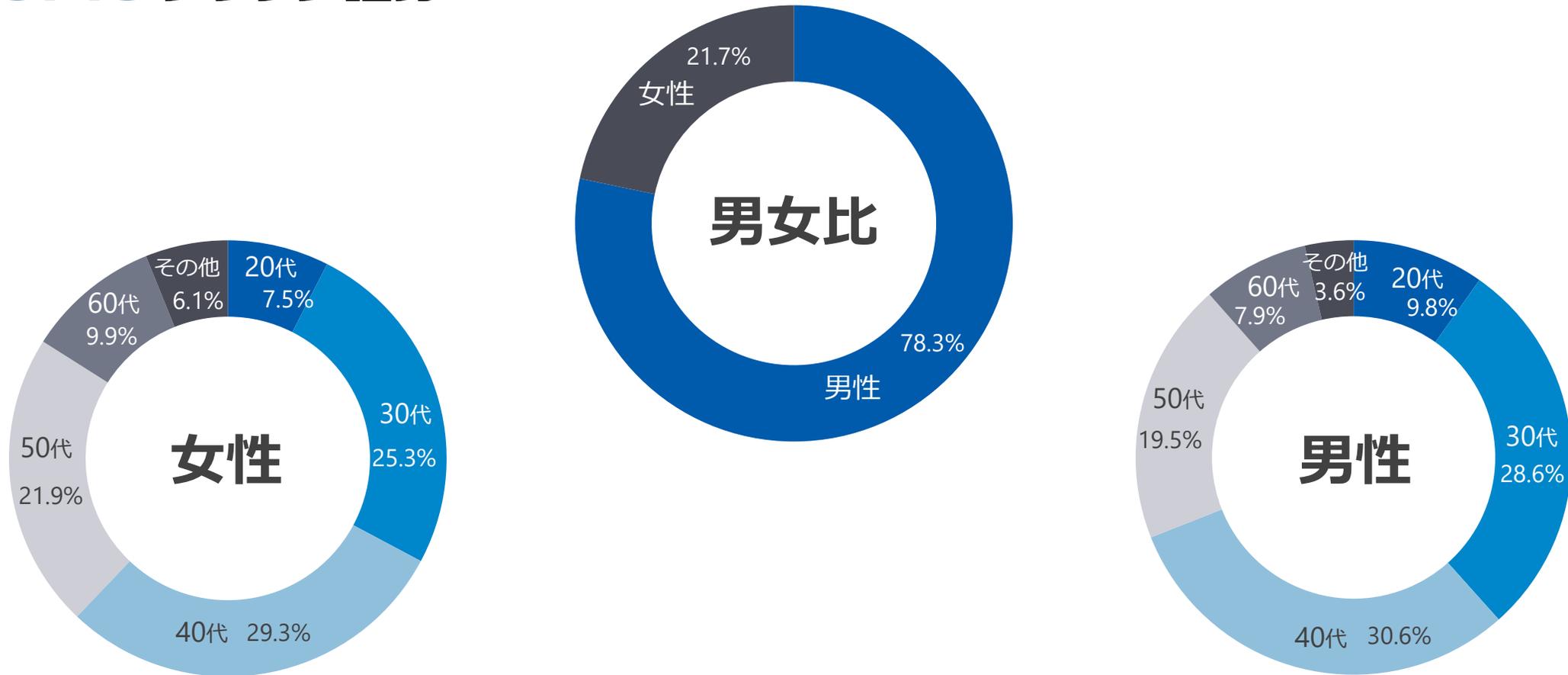
顧客属性 | GMOクリック証券 – 証券取引口座

GMOクリック証券



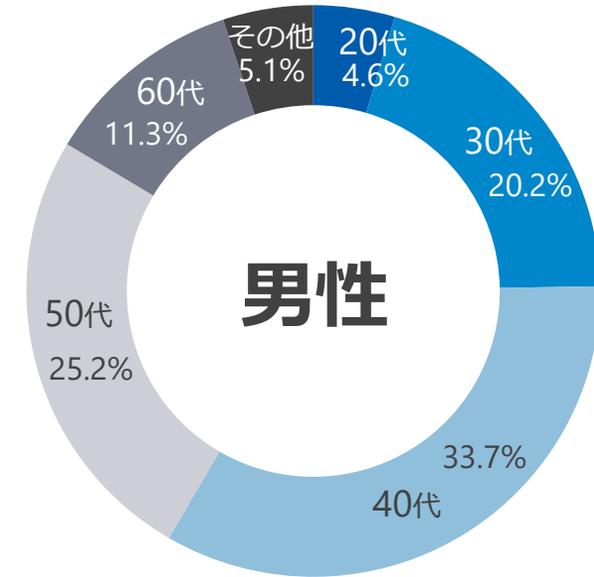
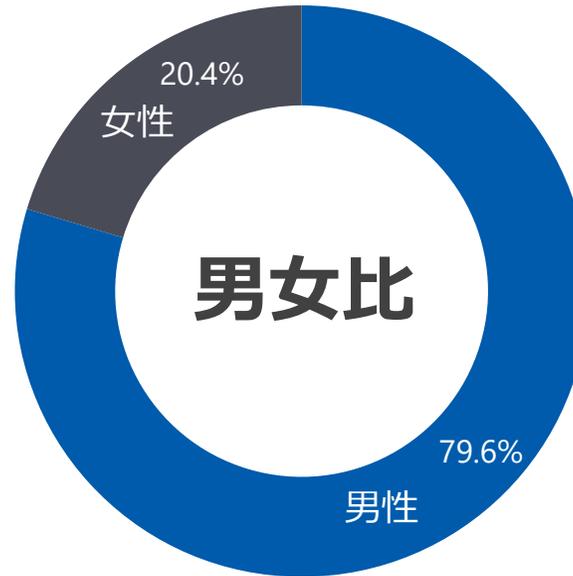
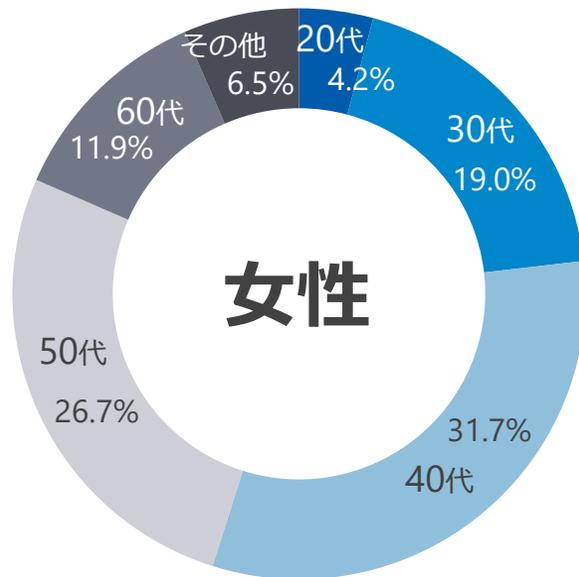
2022年12月31日現在

GMOクリック証券

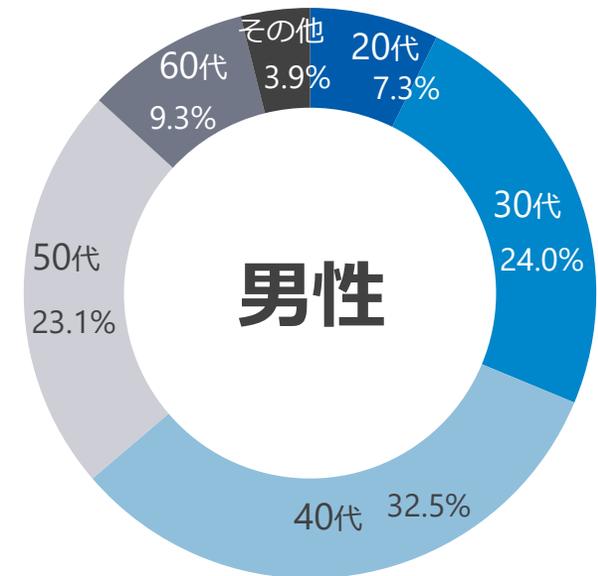
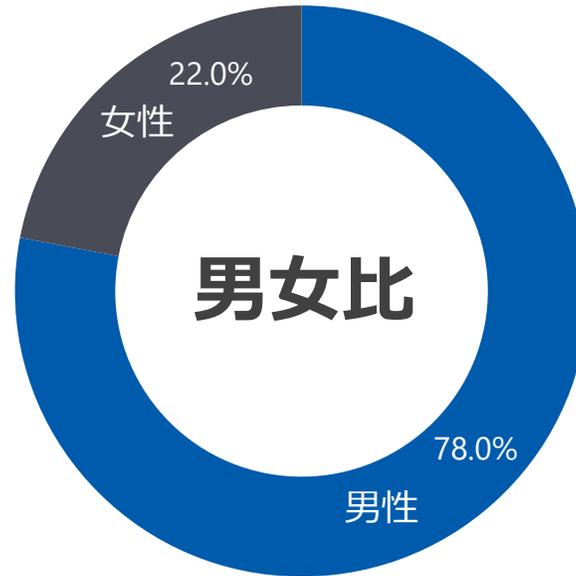
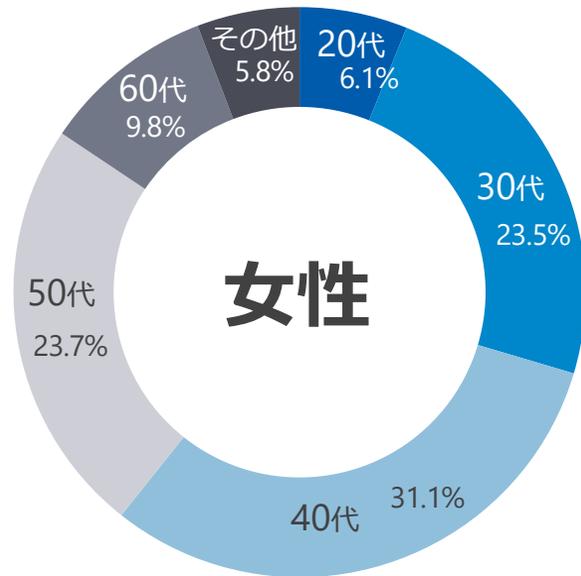


2022年12月31日現在

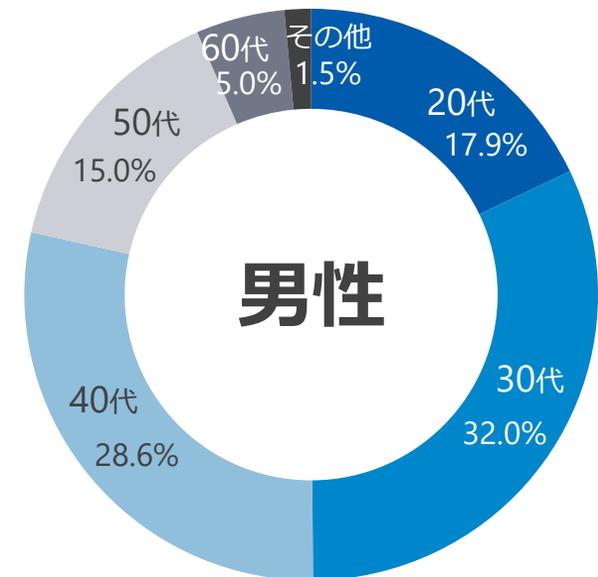
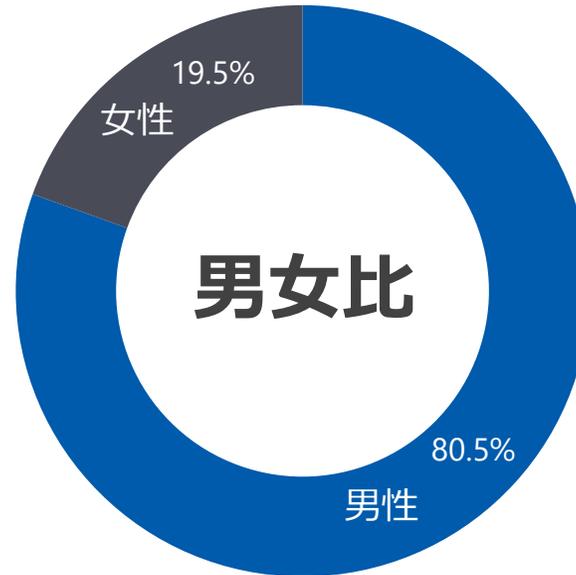
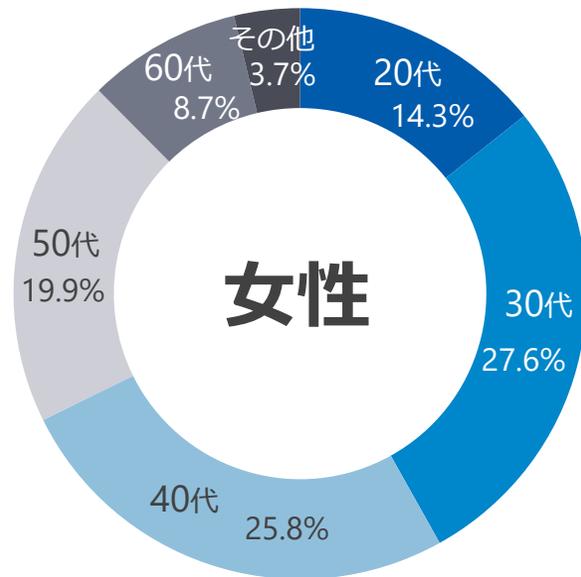
顧客属性 | FXプライムbyGMO



2022年12月31日現在



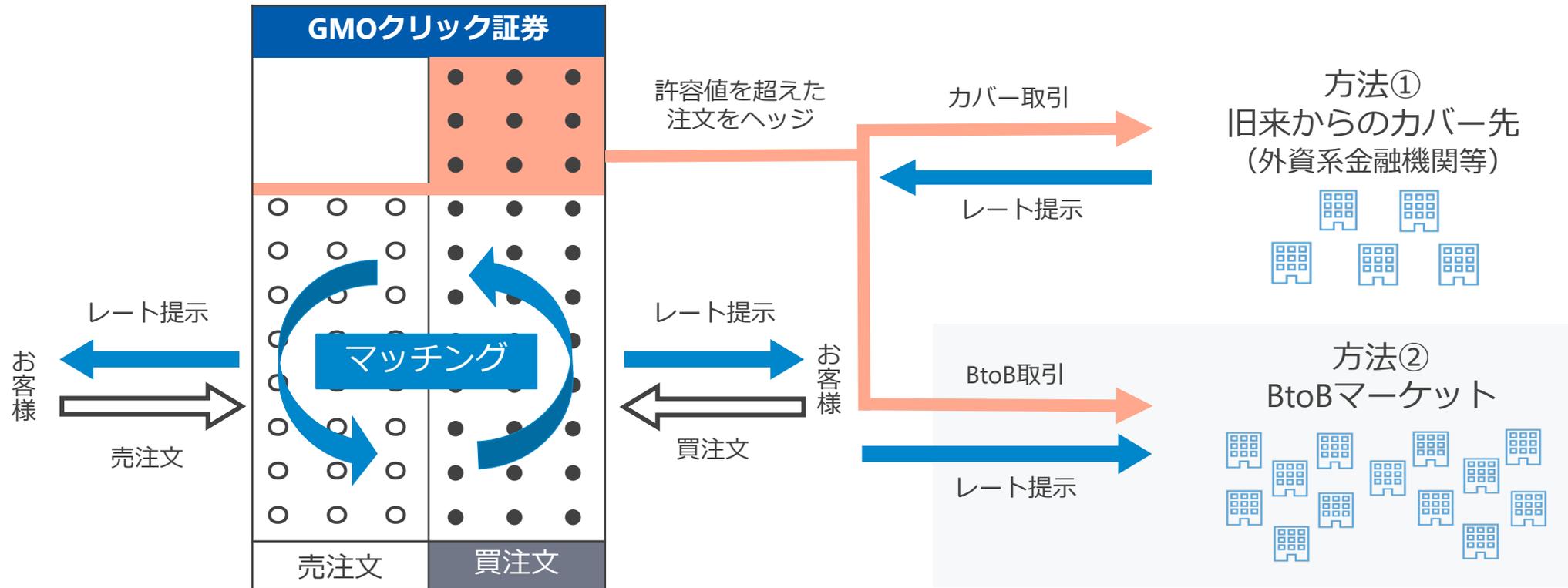
2022年12月31日現在



2022年12月31日現在

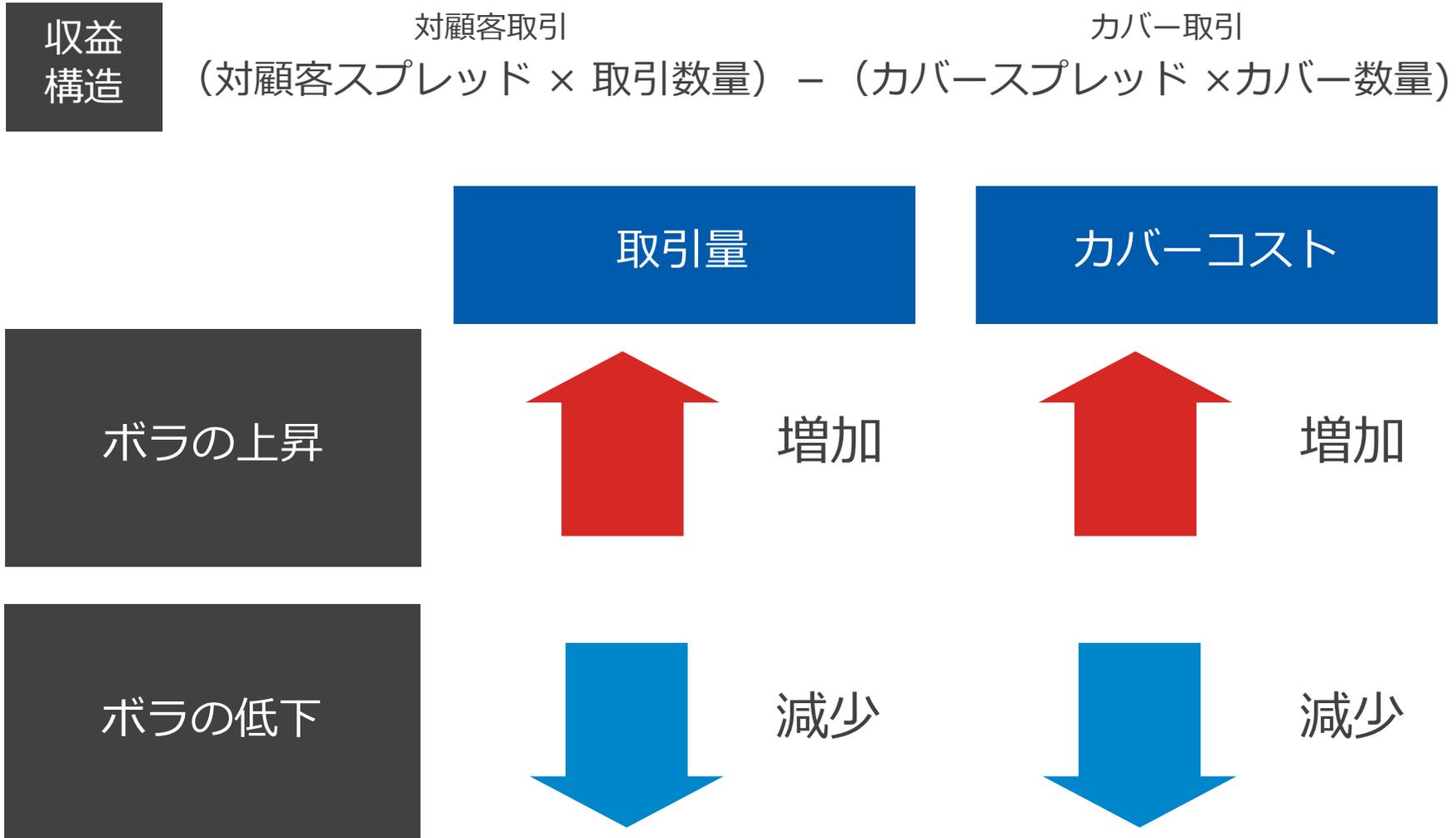
ビジネスモデル | 店頭FX

- 効率的なマッチングと、ポジションの保有リスクをヘッジする徹底した管理を追求



(上記は概念図)

店頭FXにおけるボラティリティと収益の関係

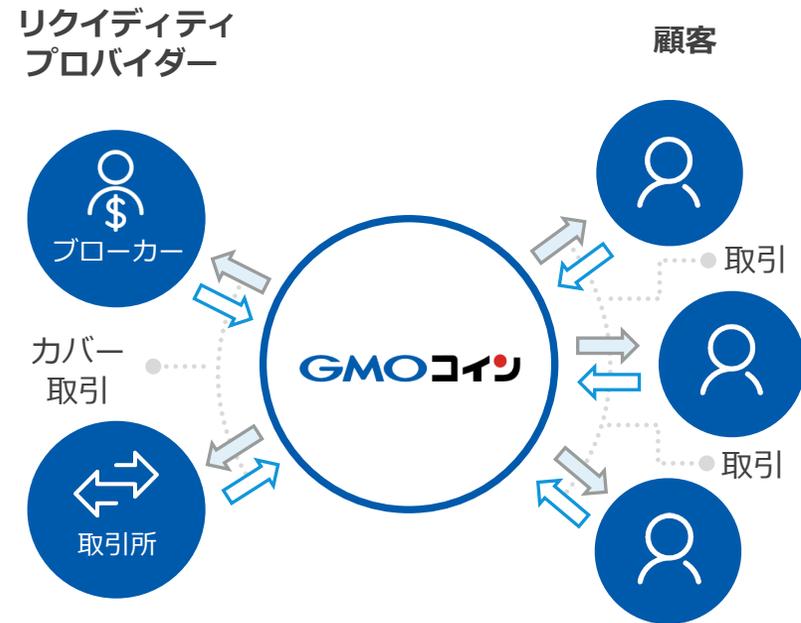


(上記は概念図)

ビジネスモデル | 暗号資産事業

販売所モデル

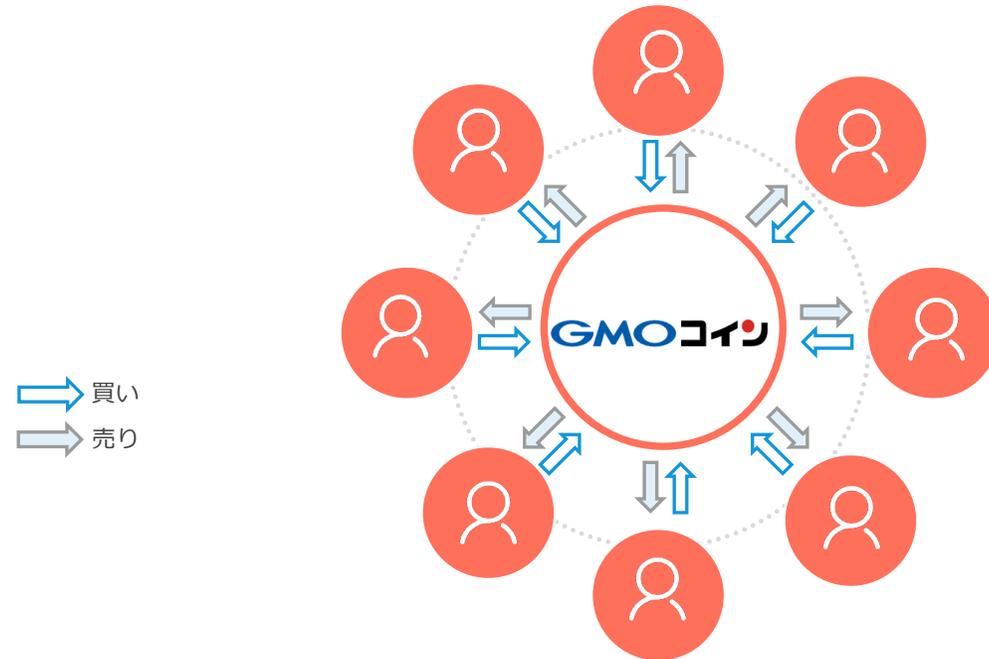
GMOコインが顧客取引の相手方となる取引
保有ポジションはカバー取引でヘッジ



主な収入源：スプレッド（売値と買値の差）

取引所モデル

GMOコインは取引をマッチングする場を提供
顧客の取引毎に手数料を受け取る



主な収入源：取引手数料

免責事項

本資料には、2023年2月3日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部当社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。また、本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。